

Nexmile I/F 仕様書

「for All Communications」

第 1.0 版

承認	確認	作成
		

公開日：2024/03/21

改定日：

内容

1. システム概要	5
1.1. 本仕様書の目的.....	5
1.2. システム機能特性.....	6
1.2.1. サーバ連携.....	6
1.2.2. 管理者機能.....	7
1.2.3. マルチサイト機能.....	8
1.2.4. Nexmile クライアントでは未実装の機能.....	8
2. アプリリンク仕様	9
2.1. アプリリンク概要.....	9
2.2. アプリリンク URL.....	9
2.3. アプリリンク機能.....	10
2.3.1. 共通パラメータ.....	11
2.3.2. ユーザ認証.....	12
2.3.3. ビデオテスト (videoSetting).....	13
2.3.4. 通話架電 (makecall).....	15
2.3.5. ライブ配信 (broadcastLive).....	16
2.3.6. ライブ視聴 (viewLive).....	17
3. サーバ間連携	18
3.1. サーバ間連携概要.....	18
3.1.1. サーバ間連携インターフェース.....	18
3.1.2. サーバ間連携共通パラメータ.....	19
3.2. アプリリンクを介して発生するサーバ間連携 (ユーザ認証).....	20
3.2.1. ユーザ認証.....	20
3.3. アプリリンクを介して発生するサーバ間連携 (通話・ライブ共通事項).....	22
3.3.1. 連携先サーバレスポンス方法.....	22
3.3.2. レスポンスクラス階層.....	22
3.3.3. レスポンス共有クラス詳細.....	24
4. コールサービス.....	26
4.1. コールサービスリクエスト概要.....	26
4.1.1. コールサービス要求クラス概要.....	26
4.1.2. コールサービスリクエスト一覧.....	27
4.2. シーケンス図.....	28
4.2.1. 荷電開始から終話までのシーケンス.....	28
4.2.2. 入電開始から終話までのシーケンス.....	30
4.3. コールサービスリクエスト詳細.....	31
4.3.1. 架電準備.....	31
4.3.2. 架電開始.....	34
4.3.3. 呼出開始.....	34
4.3.4. 通話接続.....	35
4.3.5. 通話終了.....	36
5. ライブ配信・視聴サービス	38
5.1. ライブサービスリクエスト概要.....	38

5.1.1. ライブサービス要求クラス概要	38
5.1.2. リクエスト一覧	39
5.2. シーケンス図	40
5.2.1. ライブ配信準備から配信終了まで	40
5.2.2. ライブ視聴準備から視聴終了まで	42
5.2.3. ギフト送信	44
5.2.4. スタンプ送信	45
5.2.5. コメント書込み	46
5.2.6. お気に入り登録	47
5.2.7. 有料配信切り替え	48
5.2.1.	49
5.2.8. リアルタイム決済	49
5.2.9. 管理者切断	50
5.3. ライブサービスリクエスト詳細	51
5.3.1. 配信準備	51
5.3.2. 配信開始	54
5.3.3. 配信終了	55
5.3.4. 有料配信切り替え	56
5.3.5. 配信者による視聴者強制退出	57
5.3.6. 配信中止	58
5.3.7. 管理者による配信者強制退出	59
5.3.8. 管理者によるメッセージ送信	59
5.3.9. 視聴準備	60
5.3.10. 視聴開始	63
5.3.11. 視聴終了	64
5.3.12. スタンプ・ギフト送信	65
5.3.13. コメント書込み	66
5.3.14. お気に入り登録	67
5.3.15. 有料視聴切り替え	68
5.3.16. リアルタイム決済	69
5.3.17. 視聴者情報更新	70
5.3.18. 管理者による視聴者強制退出	71
5.4. ライブカスタマイズ仕様詳細	72
5.4.1. ギフト再生方法について	72
5.4.2. フレームカスタマイズ	73
5.4.3. 定型文章カスタマイズ	75
5.4.4. カスタムメッセージ	77
5.4.5. 限定スタンプ・ギフト公開	78
5.4.6. リアルタイム決済・金種設定	79
6. アプリ未インストール報告	80
6.1. アプリ未インストール報告利用条件	80
6.2. アプリ未インストール報告リクエスト	80
7. 連携先サーバからのリクエスト	81
7.1. プッシュメッセージ配信	81
7.1.1. 制約事項	81
7.1.2. 不達端末の取り扱い	81

7.1.3. プッシュメッセージ配信要求	82
7.2. ユーザポイント更新	83
7.2.1. 制約事項	83
7.2.2. シーケンス図	83
7.2.3. ユーザポイント更新要求	84
7.3. ギフト一覧ダンプ	85
7.3.1. ギフト一覧ダンプ要求	85

1. システム概要

1.1. 本仕様書の目的

ストリームワークス合同会社が開発・販売する汎用 WebRTC ソリューション「Nexmile」について I/F 仕様を公開し、コールセンター様・サイト運営者様・ビジネスパーソン、全てのコミュニケーター業務において十二分に活用して頂く事を目的とし I/F 仕様を公開いたします。

Nexmile の特徴として

- 音声通話、ビデオ会議、ライブ配信など多岐にわたる通信機能を搭載しています。
- アプリリンクを利用すると、WEB サイトから簡単に Nexmile と連携が可能です。
- サーバ連携機能も充実しているため、簡単なインターフェースで Nexmile をご利用頂けます。
- Android アプリ, iPhone アプリ, PC 版は Chrome と Safari(*1) ブラウザー対応に対応しており、様々な環境で御利用頂けます。
- 高精度の音声認識チャットボットは口頭の情報交換をテキスト化し、手間なく検索や共有が可能です。
- SIP 連携によるコールセンターとの連動も可能で、より円滑なコミュニケーションを実現します。
- FMC (Fixed Mobile Convergence) の導入により、モバイルと固定ライン間での通話がスムーズになります。
- ビデオ共有時には背景設定や APNG 再生 (ライブギフト機能) などを通じてビジュアルな楽しみを追求できます。さらにモザイク処理・録画禁止も可能ですので、プライバシーを守ることができます。
- ネットワーク状況のモニタリング機能によりエンドユーザからのお問い合わせに迅速な回答が可能となります。「何故か接続できない」を解決します。

これらの機能を利用することで、コミュニケーター業務に新しい付加価値の創出を行うことをサポートします。

*1 一部機能制約が御座います。

1.2. システム機能特性

1.2.1. サーバ連携

現在ストアに公開されている一般的なアプリは、1対1(P2P)の通話やビデオ会議を行うことはできませんが、サーバ連携を介した呼制御には対応されていないものが多い状況です。またプライベートユースを想定しているためネットワーク経路の最適化や接続先サーバの変更、利用帯域の調整等に対応していないことが多く、エンドユーザが利用する機種・環境によっては問題が生じています。

Nexmile では利用時のネットワーク状況を監視することで適切な経路を選択するとともに、その状況を可視化またはデータ化して連携先システムに提供します。

また Nexmile は開発当初より B2C でのご利用を想定して開発しておりますので、サーバ連携を介してタイムチャージや自動切断、発着信の許可や拒否、ライブ配信等に必要なギフト機能やコメント設定など多岐にわたる連携 I/F を提供します。

1.2.2. 管理者機能

システム稼働状況やネットワーク状況の確認を行う機能を提供します。またライブ配信における各種設定を行うことができます。設定された内容はデフォルト値となり、サーバ連携において連携項目を減少させる目的でも使用されます。

これにより、初期開発段階ではデフォルト値を使用したインターフェースを作成することで開発工数を削減することができます。

「設定イメージ」

No	適用先	文字色	不透明	背景色	不透明	枠線色	枠線幅	枠線丸み	フォントサイズ	サンプルテキスト
1	ライバー・コメント	ffffff		E80951		ffffff	2	8	14	ライバー・コメント
11	ライバー・Poke	ffffff		071A79	60	ffffff	2	8	14	ライバー・Poke
12	ライバー・Poke有料返信受取	ffffff		9B0D95		ffffff	2	8	14	ライバー・Poke有料返信受取
13	ライバー・Poke無料返信受取	ffffff		9B0D95	40	ffffff	2	8	14	ライバー・Poke無料返信受取
21	ライバー・有料ギフト受取	ffffff		ffc80a	90	ffffff	2	8	14	ライバー・有料ギフト受取
22	ライバー・無料ギフト受取	ffffff		ffc80a	70	ffffff	2	8	14	ライバー・無料ギフト受取
23	ライバー・有料スタンプ受取	ffffff		f3a14c	90	ffffff	2	8	14	ライバー・有料スタンプ受取
24	ライバー・無料スタンプ受取	ffffff		f3a14c	60	ffffff	2	8	14	ライバー・無料スタンプ受取
25	ライバー・有料配信開始	ffffff		106BE6	80	ffffff	2	8	14	ライバー・有料配信開始
51	視聴者・イン	ffffff		000000	40	ffffff	2	8	14	視聴者・イン
52	視聴者・有料コメント	ffffff		4169e1	70	ffffff	2	8	14	視聴者・有料コメント
53	視聴者・無料コメント	ffffff		000000	40	ffffff	2	8	14	視聴者・無料コメント
54	視聴者・お気に入り登録	ffffff		ffb5bb	80	ffffff	2	8	14	視聴者・お気に入り登録
61	視聴者・有料Poke返信	ffffff		15F55C	50	ffffff	2	8	14	視聴者・有料Poke返信
62	視聴者・無料Poke返信	ffffff		E9D5D5	80	ffffff	2	8	14	視聴者・無料Poke返信
71	視聴者・有料ギフト送信	ffffff		ffc80a		ffffff	2	8	14	視聴者・有料ギフト送信
72	視聴者・無料ギフト送信	ffffff		EADC0E	50	ffffff	2	8	14	視聴者・無料ギフト送信
73	視聴者・有料スタンプ送信	ffffff		f3a14c		ffffff	2	8	14	視聴者・有料スタンプ送信
74	視聴者・無料スタンプ送信	ffffff		f3a14c	60	ffffff	2	8	14	視聴者・無料スタンプ送信
98	管理者警告						8		14	管理者警告
99	管理・サイト名表示						8		14	管理・サイト名表示
101	ライバーポイント	F0F30D		FF0000	60	ff0000	1	10	12	ユーザー定義1

ギフトNo	ギフト名	ポイント	ポイントテキスト	ライバーポイント	キャプション	ユーザーランク	順序	表示方式	再生回数	評価	非表示	イメージ	アニメ	有効期限
0001	花束	10	10pt	1		0	1		1					
0002	プレゼント	20	20pt	2		0	2		1					
0003	星	30	30pt	3		1	3		1					
0004	クマ	50	50pt	5		1	4		1					

1.2.3. マルチサイト機能

Nexmile クライアントは複数のユーザを切り替えて利用することができます。これにより複数のサイトやシステムと1つのアプリケーションで連携することができます。

クライアント内のユーザは互いに干渉することなく存在します。プロフィールやダウンロードされたファイル等も全てそれぞれのユーザに紐付きます。

これを実現するために Nexmile サーバ・クライアント共にサイトコードという概念を親ドメインとして、ユーザや各種設定を管理します。インストール直後の Nexmile クライアントのサイトコードは「nexmile」となり、新規登録完了後は以下の状態となります。

nexmile

ユーザ ID:12345678

その後、後述するアプリリンクによりユーザ認証を行うことで、クライアント・サーバ共に以下の状態となります。

nexmile

ユーザ ID:12345678

newsite1

ユーザ ID:XXXXXXXX

以降発生する情報は全てサイトコード単位で管理されます。

上記処理によりアプリリンク・サーバ連携共にサイトコードは必須情報となります。

※複数サイトを運営されている場合はユーザ認証がそれぞれのサイト毎に必要となります。

新たに連携先システムを追加する場合、別紙 I/F 設定仕様に基づいて、サイトコード・連携先システムの URL 等を確定する必要があります。ご希望される場合は弊社までお問い合わせください。

1.2.4. Nexmile クライアントでは未実装の機能

本仕様書の中で記載されている一部の機能に関して、クライアントアプリのデザイン及び機能と関連しているため、Nexmile クライアントでは未実装のものがあります。詳細は各機能別に注記がありますのでご参照下さい。

当該機能の御利用に関しましてはデザイン等のお打ち合わせ後、Nexmile クライアントの OEM 版をご提供しております。運営先様専用アプリを作成することで、本仕様書にある全ての機能を御利用頂くことができます。

詳しくは下記までお問い合わせください。

<mailto:info@stream-works.biz>

2. アプリリンク仕様

2.1. アプリリンク概要

Nexmile クライアントはアプリリンクにより、外部（ブラウザー）から制御を行います。

以下アプリリンクを実装するにあたりスマートフォンに Nexmile クライアントがインストール済みとします。システム連携を行う必要がない場合、アプリリンクの実装のみで Nexmile クライアントを利用できます。

アプリリンクのみでも、例として Web サイトからの呼出しを 1 人のコミュニケーターが受ける場合などに御利用頂けます。

① アプリリンクとは

スキームに https + アプリ固有のドメインが設定された URL にアクセスした際、アプリへの遷移を優先するのが主な機能です。iOS ではユニバーサルリンクと呼びます。

Nexmile クライアントのアプリリンクを実行する場合はアプリリンクが埋め込まれた Web ページが必要となります。

ブラウザーの URL 欄に入力しても遷移されませんのでご注意ください。

2.2. アプリリンク URL

Nexmile クライアントのアプリリンク URL は下記となります。

`https://sbx.stream-works.biz/sbxapp`

上記 URL は Nexmile クライアントを制御するためにアプリに組み込まれている固定値となり、変更されることはありません。

上記の URL と後述のアプリリンク機能 + クエリ形式のパラメータを HTML 上に A タグ等で埋め込むことにより、ウェブページのリンクをクリックした際にアプリが起動し、アプリリンク機能で指定された動作を実行します。

(例)

```
<a href=" https://sbx.stream-works.biz/sbxapp/activateExUser/?site=newsite.ggsrgdetw&user=XXXXXXXX&pass=YYYY" >登録</a>
```

2.3. アプリリンク機能

Nexmile クライアントでは以下のアプリリンク機能を使用することができます。

APP 機能	URL	概要
ユーザ認証	activateExUser	システム連携を行う場合、連携先のユーザを Nexmile クライアントに登録します。連携を行わない場合は不要です。
ビデオテスト	videoSetting	自身の映像・音声をサーバに送り、その映像・音声を受信して表示します。ネットワークテスト・ビデオエフェクト確認に使用します。
通話架電	makecall	相手先ユーザを指定して架電を開始します。
ライブ配信	broadcastLive	ライブ配信を開始します。
ライブ視聴	viewLive	ライブ視聴を開始します。

ユーザ認証以外のアプリリンク機能を使用するためには、ユーザ認証後のサイトコードを使用してアプリリンク URL を構築する必要があります。システム連携を行わない場合は、サイトコードを全て「nexmile」とする必要があります。

2.3.1. 共通パラメータ

下記は全てのアプリリンク機能において利用する共通パラメータとなります。

項目	名称	必須	概要
site	サイトコード	○	システム連携を行うサイトコード
uniqueId	ユーザー ワンタイム ID	△	アプリリンクの特性として、HTML 上に記載された URL をクリックすることで起動しますが、その内容はユーザから可視であるため、ユーザ ID、パスワード等の機微情報を記載することはセキュリティ上望ましくありません。連携先サーバがユーザを特定するためのワンタイム ID として Nexmile では uniqueId の利用を推奨致します。ユーザ認証に限り例外的にユーザ ID、パスワードを受け付ける仕様となっていますが、連携先サーバがワンタイム ID 未対応の場合は「6.4 アプリ未インストール通知」を御利用になることはできません。
allowWeb	WEB 版 利用許可	—	ユーザのスマートフォンにアプリが未インストールの場合、Nexmile Web 版に遷移するか、サーバ間インターフェースにより「6.4 アプリ未インストール通知」を行うかを設定します。未指定の場合は未インストール通知が実行されます。Web 版に遷移する場合は「1」を設定します。
returnUrl	戻り先 URL	—	設定時はアプリリンクによるサービス終了後に Nexmile クライアントに「サイトへ戻る」ボタンが表示されます。ユーザがボタンをクリックすると、ブラウザタブが起動し指定の URL へ遷移します。未指定の場合ボタンは表示されません。 <u>戻り先 URL の設定時には URL エンコードが必須となります。</u> 例 returnUrl=encodeURIComponent('https://test.com?id=1234&pw=4567') 戻り先 URL に ID、パスワード等を含め設定されることは、セキュリティの観点からお勧め致しません。ワンタイム ID 等の御利用を推奨致します。

2.3.2. ユーザ認証

連携先システムのユーザを Nexmile クライアント・サーバ共に登録します。このアプリリンク機能を使用するためにはサーバ間連携が必須条件となります。

Nexmile クライアントからの要求は Nexmile サーバが受信し、連携先サーバとの間でユーザ認証処理を行います。詳細は「3.サーバ間連携」を参照して下さい。

② リクエスト

項目	名称	必須	用途
site	サイトコード	○	「2.3.1 共通パラメータ」参照
uniqueId	ユーザー ワнтаイト ID	△	「2.3.1 共通パラメータ」参照
allowWeb	WEB 版利用許可	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
returnUrl	戻り先 URL	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
user	ユーザ ID	△	システム連携先ユーザ ID セキュリティ上の理由から非推奨ですが、連携先サーバの都合で uniqueId の利用が難しい場合にご利用下さい。
pass	パスワード	△	システム連携先ユーザパスワード 同上

JavaScript サンプル (一部抜粋)

```
let intentHost = "https://sbx.stream-works.biz/sbxapp";
$(function () {
  $('regist').click(function () {
    var intent = intentHost + '/activateExUser/' +
      '?site=' + 'newsite1' +
      '&user=' + '1234' +
      '&pass=' + '4567' +
      '&uniqueId=' + 'abcdefg-123456' +
      '&allowWeb=0' +
      '&returnUrl=' + encodeURIComponent('https://test.com?id=1234&pw=4567');
    window.location = intent;
  });
});
```

uniqueId が設定
されている場合
は不要

2.3.3. ビデオテスト (videoSetting)

自身の映像・音声をサーバに送り、その映像・音声は Nexmile サーバを介して受信・表示されます。このループバック処理を行うことで通信経路・応答時間・パケットロス率等の確認を行うことができます。エンドユーザに提供することで、現在のネットワーク状況をユーザが確認することができます。これによりネットワーク状態に不安があるユーザが、ライブ配信前等に事前確認することができます。

またもう一つの機能として、壁紙・モザイク・フェースフィルターの効果をユーザが事前に確認・調整することができます。設定された効果は自動的に通話・ライブ配信時に適用されます。

Nexmile クライアントはビデオ効果を実行するためにそれぞれの効果ファイルを必要とします。効果ファイルはユーザ認証時に自動的にダウンロードされますが、ダウンロードのキャンセルや効果ファイルの更新によりユーザの保有する効果ファイルが古くなっている場合でも、このアプリリンクを使用して効果ファイルの更新を行うことができます。

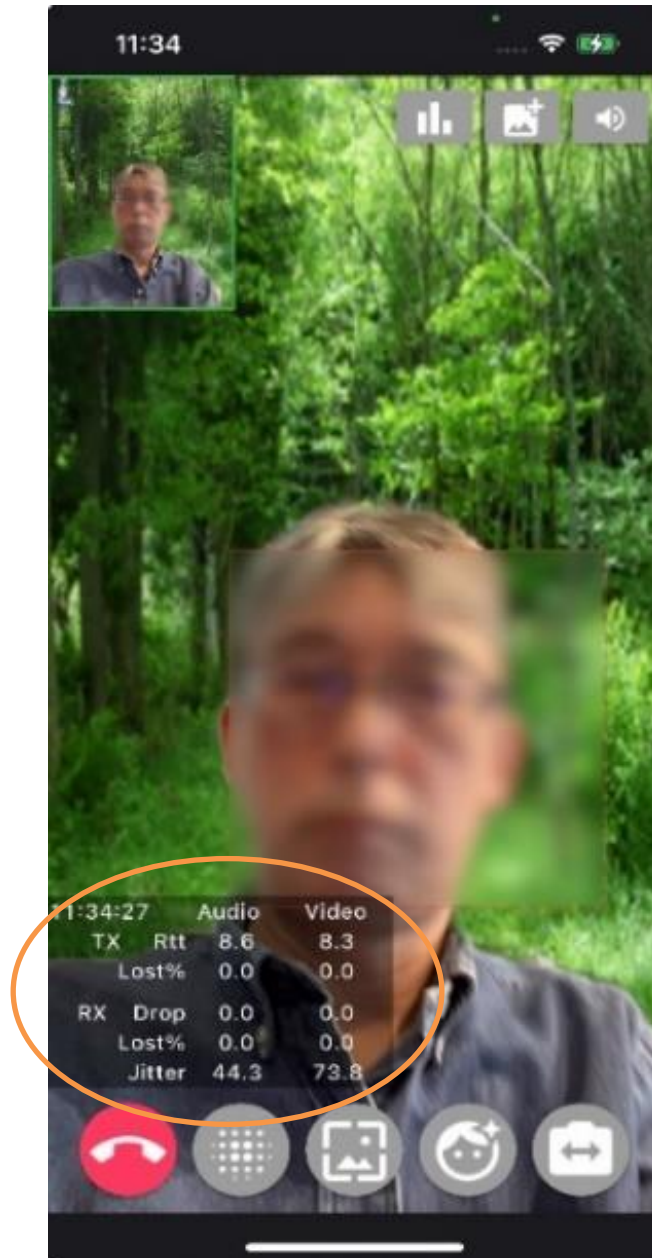
効果ファイルが古い場合でも通話・ライブ配信／視聴を実行した際に自動的に差分が更新されますが、連携先で大量に更新された場合、インタラクティブアクションに遅延がでる可能性があります。イベントや季節によりギフト等を大量に差し換える場合はビデオテストのダウンロード機能を利用下さい。

※効果ファイルはサイトコード毎に保有されます。

① リクエスト

項目	名称	必須	概要
site	サイトコード	○	「2.3.1 共通パラメータ」参照
uniqueId	ワンタイム ID	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
allowWeb	WEB 版利用許可	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
returnUrl	戻り先 URL	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
download	実行モード	○	0：ビデオループバックテストを実行する。 1：効果ファイル一括ダウンロードを実行する。

② 実行時イメージ



※オンレンジ枠内が動的統計



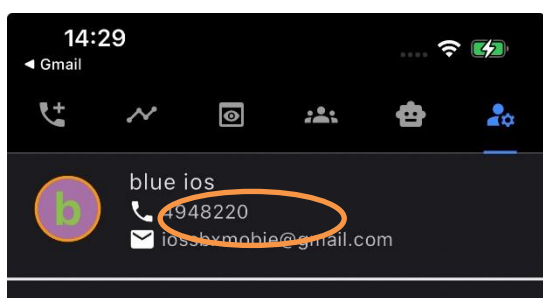
2.3.4. 通話架電 (makecall)

1 : 1 の通話を開始します。

① リクエスト

項目	名称	必須	概要
site	サイトコード	○	「2.3.1 共通パラメータ」参照
uniqueId	ワнтаイム ID	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
allowWeb	WEB 版利用許可	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
returnUrl	戻り先 URL	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
calleed	受電者 ID	○	<p><u>指定サイトが連携先システムの場合</u> ユーザ ID または連携先システムが受電先ユーザを特定できる ID を指定します。 ※ユーザ ID を指定する場合、連携システムの構築コストは低くなると想定されますが、HTML 内に受電先のユーザ ID が含まれるためセキュリティリスクが高まることが懸念されます。利用ケースによってはワнтаイム ID 等を検討下さい。</p> <p><u>Nexmile 単独利用の場合</u> アプリ電話番号を指定します。アプリ電話番号は Nexmile の設定画面より確認することができます。</p>
video	ビデオ通話	○	0 : 音声通話 1 : ビデオ通話
callerSubId	架電者識別	—	連携先システムでユーザ ID 以外の値が必要な場合に設定してください。Nexmile サーバが連携時に設定された値を常に連携先リクエストに含めず。Nexmile は前記の仕様以外で保管・検索等の処理は提供していません。連携先の仕様で設定してください。
calleeSubId	受電者識別		

設定画面イメージ



架電開始時イメージ



2.3.5. ライブ配信 (broadcastLive)

ライブ配信を開始します。このアプリリンク機能を使用するためにはサーバ間連携が必須条件となります。

① リクエスト

項目	名称	必須	概要
site	サイトコード	○	「2.3.1 共通パラメータ」参照
uniqueId	ワンタイム ID	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
allowWeb	WEB 版利用許可	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
returnUrl	戻り先 URL	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
linkId	ライブ ID	○	ライブを特定するための ID を設定します。Nexmile サーバが連携時に設定された値を常に連携先要求に含めます。 Nexmile は前記の仕様以外で保管・検索等の処理は提供していません。連携先の仕様で設定して下さい。また Nexmile サーバとしてこの値がユニーク ID である必要はありませんが、ライブ状況の管理等、連携先で使用することが想定されるためユニーク ID を推奨します。

② 実行時イメージ

配信開始前イメージ



配信イメージ



2.3.6. ライブ視聴 (viewLive)

ライブ視聴を開始します。このアプリリンク機能を使用するためにはサーバ間連携が必須条件となります。

① リクエスト

項目	名称	必須	概要
site	サイトコード	○	「2.3.1 共通パラメータ」参照
uniqueId	ワンタイム ID	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
allowWeb	WEB 版利用許可	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
returnUrl	戻り先 URL	—	「2.3.1 共通パラメータ」参照
liveToken	ライブ トークン	○	ライブ配信の開始時に Nexmile サーバから連携先システムに送信される配信準備リクエストのライブトークンを指定します。詳細は「5.ライブ配信・視聴サービス」を参照して下さい。
linkId	ライブ ID	○	ライブを特定するための ID を設定します。Nexmile サーバが連携時に設定された値を常に連携先要求に含めます。Nexmile は前記の仕様以外で保管・検索等の処理は提供していません。連携先の仕様で設定して下さい。また Nexmile サーバとしてこの値がユニーク ID である必要はありませんが、視聴状況の管理等、連携先で使用することが想定されるためライブ配信時に設定された値と同値であることを推奨します。

② 実行時イメージ

ライブ視聴イメージ (ギフト送信)



3. サーバ間連携

3.1. サーバ間連携概要

サーバ間連携は2種類の方向に分かれます。

アプリリンクを介して Nexmile クライアント → Nexmile サーバ → 連携先サーバとリクエストが遷移し、その逆順でレスポンスするパターン

連携先サーバの要求により連携先サーバ → Nexmile サーバ → Nexmile クライアントに要求を遷移させるパターン

これらの機能を利用するためには I/F 設定仕様書を弊社に提出頂き、サイトコードを取得する必要があります。I/F 設定仕様書は下記よりダウンロードして下さい。記入にあたり当節の一読をお願い致します。

「設定仕様書ダウンロード」

<https://dl.stream-works.biz/download/setting.xlsx>

ご記入の上、<mailto:info@stream-works.biz> まで送付下さい。

尚ご不明な点等も左記メールアドレスで承ります。

3.1.1. サーバ間連携インターフェース

- ① 文字コード UTF-8
- ② インターフェース一覧

Nexmile サーバ → 連携先サーバ

リクエスト	METHOD	TYPE	設定要件
ユーザ認証	GET	QUERY	必須
コールサービス	POST	JSON	任意
ライブサービス	POST	JSON	任意
リアルタイム決済	GET	QUERY	任意
アプリ未インストール報告	GET	QUERY	任意

連携先サーバ → Nexmile サーバ

リクエスト	METHOD	TYPE	URL
プッシュメッセージ配信	POST	JSON	https://svc.stream-works.biz:2443/SiteOwner/PushMessage
ユーザポイント更新	POST	QUERY	https://svc.stream-works.biz:2443/SiteOwner/UpdateUserBalance
ギフト一覧ダンプ	POST	QUERY	https://svc.stream-works.biz:2443/SiteOwner/DumpGift

- ③ 表中の TYPE について
 QUERY : URL+?+QUERY 形式文字列 (&key=value) が設定される。
 JSON : Nexmile サーバで指定するクラスを JSON 形式にシリアライズされた文字列が設定される。
- ④ URL エンコード
 QUERY 形式の場合 value にエンコード対象文字列を含む場合、URL エンコードを行う必要がある。JSON 形式の場合シリアライズ後の文字列に URL エンコードを行う必要がある。両サーバ共に上記規則により URL エンコードまたはデコードを行う。

3.1.2. サーバ間連携共通パラメータ

サーバ間連携に関し、頻出する下記フィールドについては以下の内容が設定される。

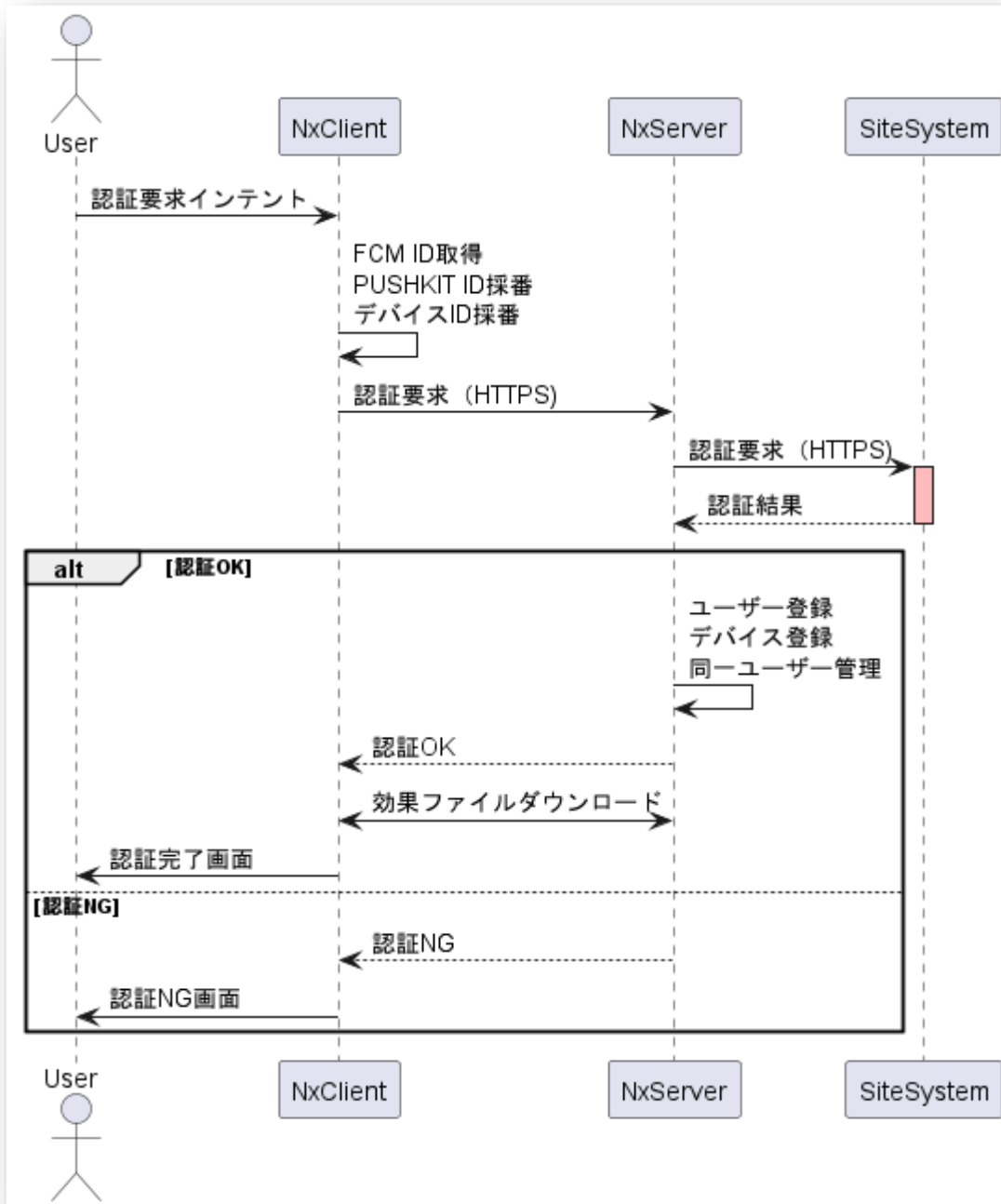
フィールド	名称	概要
siteApiKey または siteKey	サイト認証キー	Nexmile サーバが通信対象とする連携先サーバを表す。サイトコードと同義であるが、サイトコードはブラウザ上に表示されるため、別途で siteApiKey を使用する。連携先サーバはリクエストの要求元を siteApiKey により認証することができる。この値は I/F 設定仕様書に記載される。この値が漏洩した場合に備え連携先サーバは固定値を使用せず、常時変更できる方式で構築することを推奨する。
siteToken	サイトトークン	Nexmile サーバが通信対象とする連携先サーバを現わす。サイトコードと同義であり別途使用する理由もサイト認証キーと同様であるが、サイトトークンは発行された後に変更となることはない。セキュリティ担保はサイト認証キーで行い、システム内のユニークキーとして使用することができる。
deviceToken	デバイストークン	スマートフォン毎にユニークなトークン (UUID) アプリをアンインストール後にインストールするとこの値は変更される。 連携先サーバとして1人のユーザが複数のスマートフォンを使用していることを管理する場合、この値を記録する必要がある。
appVersion	アプリバージョン	ユーザが使用しているアプリのバージョン 99.99.99 形式
osType	OS 種別	1: Android 2: iOS 3: Browser
result	結果コード	0: 正常応答 0 以外:拒否応答
message	失敗メッセージ	拒否応答時にユーザに表示するメッセージを設定する。拒否応答かつ未設定の場合 Nexmile 既定のメッセージ「連携先サイトに拒否されました。」が表示される。

3.2. アプリリンクを介して発生するサーバ間連携（ユーザ認証）

3.2.1. ユーザ認証

① シーケンス図

認証要求から最終的にユーザに登録完了が表示されまでのシーケンス



② 認証リクエスト

URL+QUERY 形式文字列が GET で送信される。

項目	名称	必須	概要
siteApiKey	サイト API Key	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
deviceToken	デバイストークン	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
appVersion	アプリバージョン	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
osType	OS 種別	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
uniqueId	ワнтаイム ID	△	「2.3.1 共通パラメータ」参照
userId	ユーザ ID	△	アプリリンクにより設定された連携先ユーザ ID
userPw	ユーザパスワード	△	アプリリンクにより設定された連携先ユーザパスワード

(例) `https://test.com/auth?siteApiKey=test.key&deviceToken=106f7a7d-e11c-ef05-2e8c-54b459aa202e&appVersion=01.01.00&opTtype=1&userId=11111111&pw=22222`

「`https://test.com/auth`」は設定仕様書に基づく URL となる。

③ 認証結果

レスポンスは QUERY 形式文字列。

項目	名称	必須	概要
result	結果コード	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
message	失敗メッセージ	—	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
enable DownloadEffect	フェース フィルター ダウンロード許可	—	フェースフィルターに関してダウンロードを許可するか否かを設定する。 1：許可する 1 以外または未設定：許可しない フェースフィルターについては、使用されるソフトウェアによりライセンス形態がことなるため特定のユーザにのみダウンロードを許可する目的で使用する。 他の効果ファイルは無条件にダウンロードされる。

3.3. アプリリンクを介して発生するサーバ間連携（通話・ライブ共通事項）

3.3.1. 連携先サーバレスポンス方法

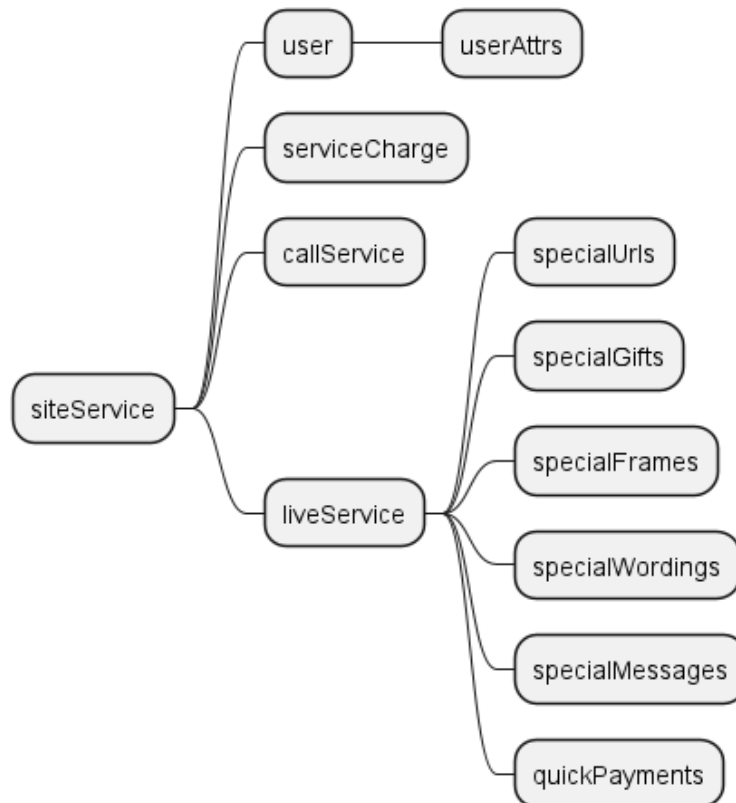
通話・ライブ共に連携先サーバからのレスポンスは既定のクラスを JSON にシリアライズし、さらにそのシリアライズテキストを URL エンコードしたものを使用する。

- ① リクエストに対して正常終了である場合、下記の何れかの形式でレスポンスを行う。
`result=0&service=URL エンコード(シリアライズされた既定のクラス)`
`result=0` （要求の種別により `result` のみをレスポンスとする場合）
- ② リクエストに対して拒否応答である場合、下記の形式でレスポンスを行う。
`result=-1&messsge=URL エンコード(エラーメッセージ)`

正常終了である場合は常に `result` は 0 となり、0 以外が設定されている場合には要求が拒否されたと見なされ、ユーザに対して連携先サーバで設定したエラーメッセージが表示される。特に記述が無い場合を除き Nexmile サーバにおいて `result` が 0 以外の場合は拒否処理を行う以外の作用はない。（error result による処理振分には対応していない。）

3.3.2. レスポンスクラス階層

- ① 階層図
 レスポンスクラスは下記階層をもつクラスの集合となる。C#によるクラス定義のサンプルは <https://dl.stream-works.biz/download/sample/SiteService.txt> を参照のこと。



② クラス用途概要

class	名称	必須	用途
siteService	サイトサービス	○	通話・ライブサービスで連携先サーバが使用するルートクラス
user	ユーザ情報	○	アプリリンク要求者の詳細情報を設定する。通話・ライブ共に設定は必須となる。
serviceCharge	課金情報	○	サービス利用時の課金情報を設定する。通話・ライブ共に設定は必須となる。無償の場合でも設定する必要がある。Nexmile サーバは課金情報を用いて利用可能時間を算出しサービスの自動切断を実行する。
callService	コールサービス	△	通話に関する詳細情報を設定する。
liveService	ライブサービス	△	配信または視聴されるライブの詳細情報を設定する。

ライブサービス用サブクラス

class	名称	必須	用途
specialUrls	カスタム URL	—	トップバーナー等の URL を設定する。
specialGift	カスタムギフト	—	既存のギフト設定を上書きまたは追加を行う。
specialFrames	カスタムフレーム	—	既存のコメントフレームやガイダンスフレームの前景色・背景色・文字サイズ等を上書設定する。
specialWordings	カスタム定型文章	—	ログイン時のガイダンスや、ギフト送受信時のガイダンス等、システムが自動的に送信するガイダンスの文言や文字色を上書き設定する。
specialMessages	カスタムメッセージ	—	所定の時間経過後に表示されるポップアップを設定する。位置や表示時間等を設定することができる。
quickPayment	ユーザチャージ要求	—	連携先サーバが視聴中のチャージをサポートしている場合、金種を設定することで、ユーザが視聴中のポイント購入を実行することができる。
userAttrs	ユーザ属性	—	Key/Value 形式でユーザの年齢・性別等の情報を設定する。ライブ配信等でライバー・視聴者の情報として表示する。

※網掛け部について

1.2.4 Nexmile クライアントでは未実装の機能を参照

3.3.3. レスポンス共有クラス詳細

① ユーザ情報詳細

サービスを利用するユーザの情報を設定する。

プロパティ	属性	必須	用途
userId	String	○	連携先サーバでのユーザ ID
name	String	○	連携先サーバでのユーザ名称
profileImageUrl	String	—	連携先サーバがユーザイメージ提供している場合、そのイメージが通話呼出しや、ライブコメント等に表示される。
userAttrs	Class	—	連携先サーバでのユーザ属性(年齢・性別等)
userSubId	String	—	連携先サーバがマルチアカウントを採用している場合、通話開始時に受電者がどの ID (または名称) で受電したかを判断するために、通話開始時に設定された ID が所定時間表示される。ID と称しているがハンドル名等のアカウントを判断する文字列を設定する。
userRank	Num	—	連携先サーバがユーザにレベルを設けている場合、そのランクにより送信可能なギフトが制限される。
		範囲	0～9 9が最高ランク
userRankImageUrl	String	—	連携先サーバがユーザにレベルを設けている場合、そのランクに該当するイメージがライブコメント等に表示される。
candidateMode	Num	—	特定のユーザが IPV4 または IPV6 ネットワークの利用を希望する場合に、指定のネットワークで通信を行います。
		値	1 : IPV4 のみで通信 2 : IPV6 のみで通信 3 : 両方で通信 (未指定と同義)

※網掛け部について

1.2.4 Nexmile クライアントでは未実装の機能を参照

② 課金情報詳細

サービスを利用することで発生する、消費ポイントに関連する情報を設定する。

プロパティ	属性	必須	用途
serviceChargeTp	Num	○	課金情報の種別
		値	1：通話課金情報 2：ライブ課金情報
unitSec	Num	○	課金単位秒数
		範囲	0または15～180 0の場合無課金となる
unitPrice	Num	○	課金単位秒数毎の課金額
		範囲	0または1～9999 0の場合無課金となる
pointPrice	Num	○	1ポイントの金額
		範囲	0または1～9999 0の場合無課金となる
currentPoint	Num	○	ユーザが現在保有しているポイント
		範囲	0～9999999
freeTrialSec	Num	○	有償視聴ライブにおいて課金の開始を遅延させる秒数 通話サービスでは未使用のため常に0を設定する。
		範囲	0～9999999
autoChargeTriggerPoint	Num	○	Nexmile サーバ内で課金処理を実行中に、ユーザのポイントがこの設定値を下回った場合に指定 URL にリクエストを送信する。連携先サーバがクレジット決済の自動引き落とし等をサポートしている場合に設定する。
autoChargeTriggerUrl	String	—	上記ポイントトリガー処理のリクエスト先を URL+クエリ形式で指定する。クエリ内にユーザ ID 等を設定することでオートチャージ等に利用することができる。リクエストは GET で送出される。

③ Nexmile サーバ内の課金方法

上記の課金情報を用いて以下の方式によりユーザポイントの減算・加算を行い、利用可能額が「unitPrice」を下回った場合に、そのサービスは終了となる。

$$\text{課金対象秒数} = \text{現在時刻} - (\text{課金開始時刻} + \text{freeTrialSec})$$

課金対象秒数が0以上の場合

$$\text{現在課金額} = (\text{課金対象秒数} / \text{unitSec}) * \text{unitPrice} \quad \text{※少数以下を含む}$$

$$\text{利用可能総額} = \text{currentPoint} + \text{調整ポイント} * \text{pointPrice}$$

$$\text{利用可能残高} = \text{利用可能総額} - \text{現在課金額}$$

利用可能残高が利用中サービスの下記単価を未満になった場合、そのサービスは切断される。尚、上記処理は Nexmile サーバ内で1秒毎に行われている。

調整ポイントについて

Nexmile サービスの利用中に当該ユーザが連携先サーバのサービス利用による減算、またはオートチャージによる加算により Nexmile サーバ側の利用可能総額を変更する必要がある場合には、後述「7.2 ユーザポイント更新」により調整ポイントの更新を行う。

4. コールサービス

音声・ビデオ通話のシステム間連携に関して記載する。

4.1. コールサービスリクエスト概要

コールサービスの要求は既定のクラスを JSON にシリアル化し、さらにそのシリアル化テキストを URL エンコードしたものを POST により連携先サーバに要求する。尚、C#によるクラス定義のサンプルは <https://dl.stream-works.biz/download/sample/LinkSite.txt> 及び <https://dl.stream-works.biz/download/sample/LinkCallService.txt> を参照のこと。

リクエストは以下の形式で実行される。

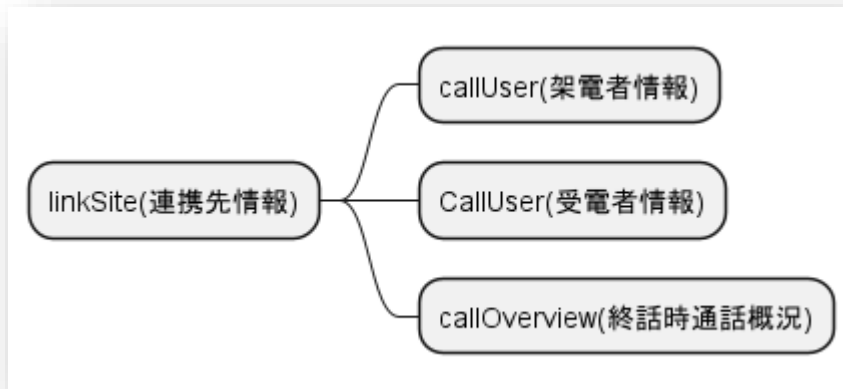
`https://test.com/CallService?siteKey= test.key`

「`https://test.com/CallService`」は I/F 設定仕様書に基づく URL となる。

Query 文字列 `siteKey` は連携先システムで POST データのパス前に、要求の事前承認を行うために使用する。また要求の本体は POST されるので、連携先システムの使用するシステムに合わせて取得を行う。

4.1.1. コールサービス要求クラス概要

① クラス階層図



② クラス用途概要

class	名称	必須	用途
linkSite	連携先情報	○	連携先サーバが Nexmile サーバの要求先サイトを識別するための siteToken が設定されている。連携先サーバは siteToken よりサイトを特定する。
callUser(架電者)	話者情報	○	架電者のユーザ ID 等の情報
callUser(受電者)	話者情報	○	アプリリンクで設定された calleid 等の受電者情報
callOverview	通話概況	—	終話時のみ設定される通話概況 開始・終了時刻等の通話全体の情報を提供する。

4.1.2. コールサービスリクエスト一覧

以下のリクエストが Nexmile サーバから連携先サーバにリクエストされる。連携先サーバは全ての要求に対してレスポンスを生成する必要がある。但し、表中の応答コード有効が「-」のリクエストについては、Nexmile サーバ側でレスポンスを参照した実装は存在しないため、HTTP ステータス 200 応答のみとする。仮にレスポンスを生成した場合には不要なトラフィックが発生しているため考慮する必要がある。

表中の応答コード有効が「○」のリクエストについては 3.3.1 連携先サーバレスポンス方法①または②によりレスポンスを生成する必要がある。

レスポンスの「result」が 0 以外の場合、リクエストは拒否されたとして、Nexmile サーバにより Nexmile クライアントに向けてレスポンスが生成される。Nexmile クライアントは連携先サーバが設定したメッセージを表示しリクエストを終了する。

① リクエスト一覧

要求	要求 ID callServiceTp	応答コード 有効	必須レスポンス			再送
			user	serviceCharge	callService	
架電準備	1	○	○	○	○	-
架電開始	3	○	-	-	-	-
呼出開始	4	-	-	-	-	-
通話接続	5	-	-	-	-	-
通話終了 (未完了呼を含む)	6	-	-	-	-	○

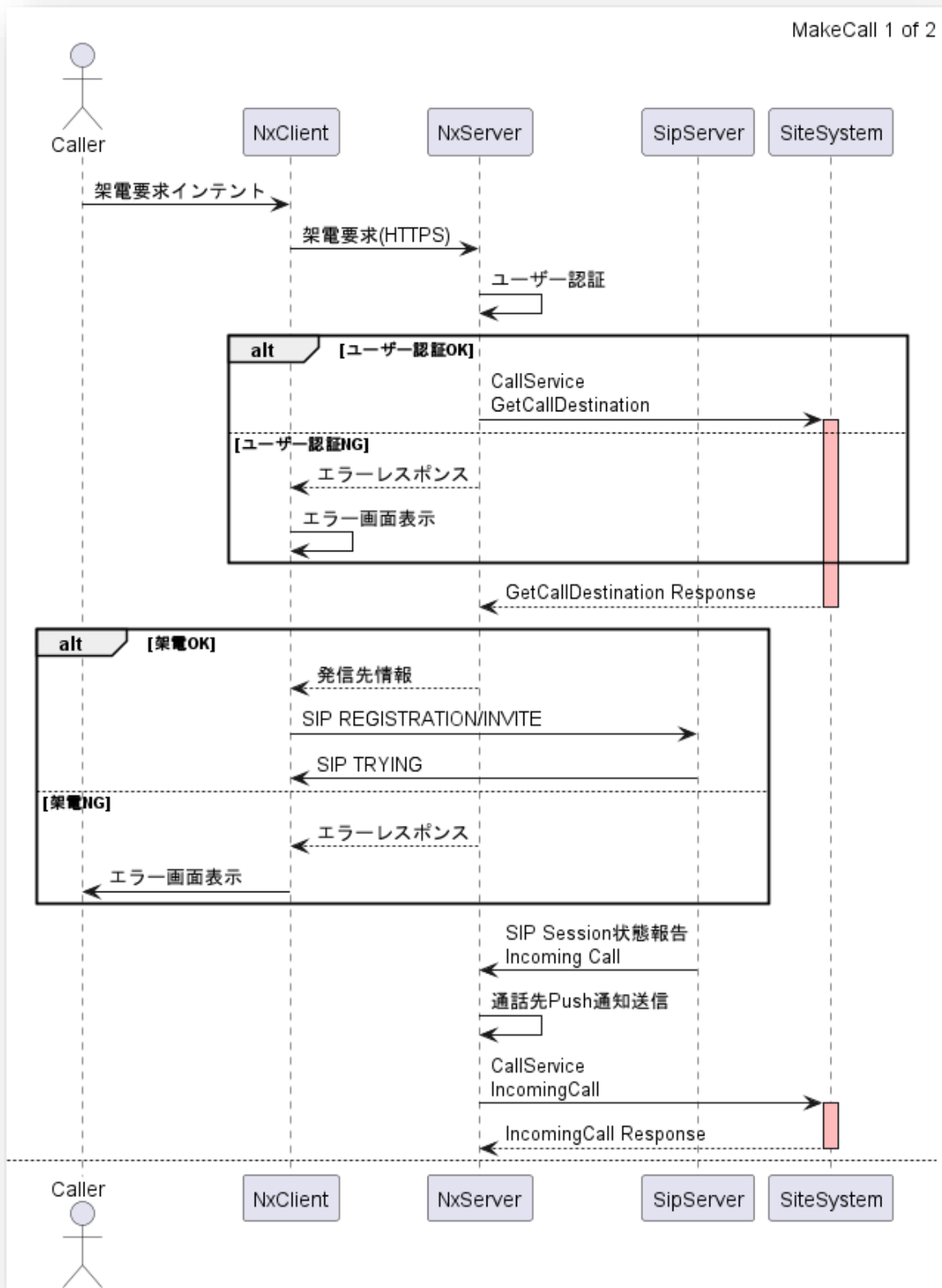
② レスポンスタイムアウトと再送

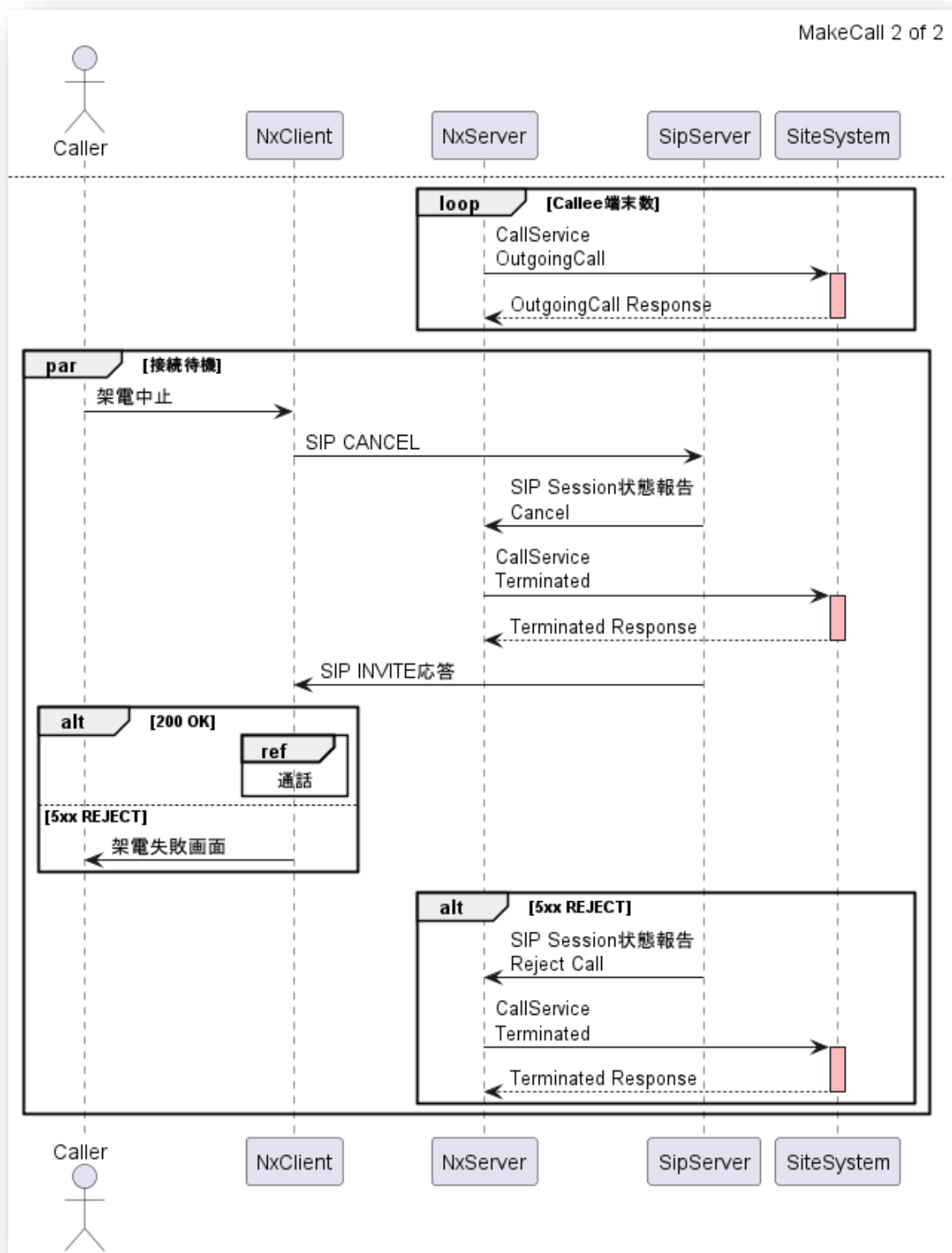
各リクエストに対するレスポンスタイムアウトはシステム標準で 8 秒間に設定されている。レスポンスタイムアウトの場合、Nexmile クライアントは処理を終了し、タイムアウトしたことをユーザに表示する。

通話終了リクエストに関しては再送に対応しており、タイムアウト後も一定の間隔で 200OK 応答を受信するまで再送を行う。再送は 1、2、4、8、16、32、64、以降 128 秒毎に実行され、6 時間を経過した時点で破棄される。

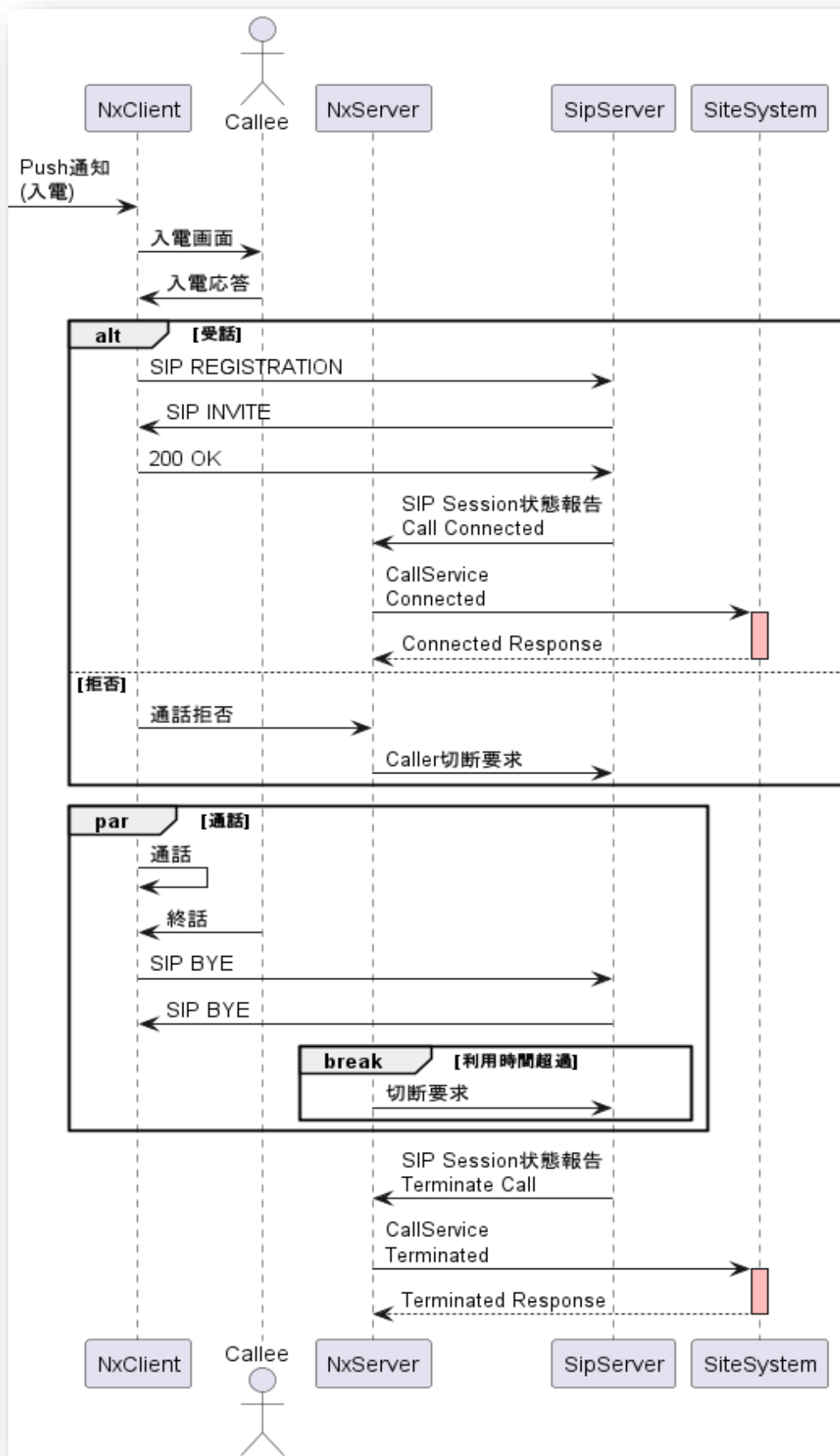
4.2. シーケンス図

4.2.1. 荷電開始から終話までのシーケンス





4.2.2. 入電開始から終話までのシーケンス



4.3. コールサービスリクエスト詳細

4.3.1. 架電準備

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
callServiceTp	Num	○	1（架電準備）が設定される。
callToken	String	○	Nexmile サーバ側で呼を特定するための ID 連携先システムが呼を管理する場合、連携先システムのユニークキーと紐つける必要がある。
caller	Class	○	下記参照
callee	Class	○	下記参照
videoCall	Bool	○	アプリリンク要求がビデオ通話の場合 True、 以外の場合 False
callStatusTime	String	○	要求開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

caller

プロパティ	属性	必須	用途
userId	String	○	連携先システムユーザ ID 公衆回線呼出しの場合は架電者電話番号
userSubId	String	—	アプリリンクで設定された callerSubId
uaTp	Num	○	架電経由装置種別
		値	1：アプリ 2：公衆回線
appVer	String	△	アプリの場合アプリバージョン 99.99.99 フォーマット
deviceName	String	△	アプリの場合利用端末名称
osVer	String	△	アプリの場合利用端末 OS バージョン

callee

プロパティ	属性	必須	用途
userId	String	○	アプリリンクで設定された calleeld
userSubId	String	—	アプリリンクで設定された calleeSubId

② レスポンス

プロパティ	属性	必須	用途
user	Class	○	「3.3.3 レスポンス共有クラス」参照
serviceCharge	Class	○	「3.3.3 レスポンス共有クラス」参照 但し、受電者課金(paidCallee が True)の場合、currentPoint には受電者の現在ポイントを設定する。 <仕様改定予定> 架電開始から通話接続の間に受電ユーザが連携先システムでポイントを消費した場合、システム間でポイントの整合性がずれる可能性があるため、通話接続開始で再度課金対象者のポイントを取得する必要がある。
callService	Class	○	下記参照

callService

プロパティ	属性	必須	用途
callToken	String	○	リクエストに含まれている callToken
callerOption	Num	○	架電者の通話オプション。 マスク値で設定する。オプション未使用の場合は 0 を設定する。 次ページ参照
calleeUserId	String	○	受電者のユーザ ID
calleeUserNm	String	○	受電者の名称
calleeProfileImageUrl	String	—	受電者のイメージ URL
calleeOption	Num	○	受電者の通話オプション。 マスク値で設定する。オプション未使用の場合は 0 を設定する
calleeReturnUrl	String	—	受電者終話後の戻り先 URL 「2.3.1 共通パラメータ」参照
callUserSubId	String	—	受電者のサブ ID 「3.3.3 レスポンス共有クラス」参照
calleeCandidateMode	Num	—	受電者のネットワーク経路選択方式 「3.3.3 レスポンス共有クラス」参照
callerIdPrefix	String	—	架電者名称プレフィックス 設定することで受電者の入電通知に表示される架電者名称の前に付加される。 入電通知の形式はサイト名+架電者名称プレフィックス+架電者名となっている。Nexmile サーバ側でスペース等の追加は行っていないため架電者名称プレフィックスに「・/」等の区切り文字を設定する。

次ページへ続く

プロパティ	属性	必須	用途
videoCall	Bool	○	ビデオ通話の場合 True、以外の場合 False 通常アプリリンクで設定された値と同値であるが、上書きすることで Nexmile クライアントの通話種別を変更する。
callingTimeout	Num	○	呼出しの満了時間 Nexmile クライアントが呼出しを終了し、受電者未応答を報告するまでの秒数
		範囲	10～180
paidCallee	Bool	○	3.3.1③における、利用時間減算処理は通常架電者側に対して行われるが True にすると、受電者側が当該処理の対象となる。

callOption 設定値

機能名	値	用途
フェースフィルター	1	フェースフィルターの利用を許可する。 フェースフィルターの利用には別途ライセンスが必要 Nexmile クライアントでは、 FaceUnity、DeepAR、Banuba をサポートしている。
モザイク機能	2	モザイクの利用を許可する。
壁紙機能	4	壁紙の利用を許可する。
録画・録音許可	8	録画・録音許可を許可する。Nexmile クライアントのデフォルト状態では録画・録音は許可されていない。 許可する場合に設定を行う。

4.3.2. 架電開始

Nexmile クライアントが架電を開始した時点（Nexmile サーバへ通信を開始した時点）での発生するリクエスト。連携先システムにより通話を許可または不許可であることを判断する最終リクエストとなる。

通話の許可または不許可は架電準備リクエストへのレスポンスで行うことが望ましいが、連携先システム側の仕様により、架電開始以降に切断したい場合に使用する。

① リクエスト

callServiceTp を除き、架電準備リクエストと同様

callServiceTp	Num	○	3（架電開始）が設定される。
---------------	-----	---	----------------

但し、callee に下記の情報が補完されたリクエストとなる。

プロパティ	属性	必須	用途
uaTp	Num	○	架電経由装置種別
		値	1：アプリ 2：公衆回線
appVer	String	△	アプリの場合アプリバージョン 99.99.99 フォーマット
deviceName	String	△	アプリの場合利用端末名称
osVer	String	△	アプリの場合利用端末 OS バージョン

② レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

4.3.3. 呼出開始

受電側が公衆網の場合は、受電側が呼出しの鳴動開始した時点でのリクエスト。

受電側がアプリの場合は、受話のボタンを押下した時点でのリクエスト。

アプリの場合は「4.3.4 通話接続」と近傍で発生するため、連携先システムが公衆回線を用いない場合はこの要求に対して特段の処理は不要である。

① リクエスト

callServiceTp を除き、架電開始リクエストと同様

callServiceTp	Num	○	4（呼出開始）が設定される。
---------------	-----	---	----------------

② レスポンス

HTTP STATUS 応答のみ

4.3.4. 通話接続

通話が成立した時点でのリクエスト。

① リクエスト

callServiceTp を除き、架電開始リクエストと同様

callServiceTp	Num	○	5 (通話接続) が設定される。
---------------	-----	---	------------------

② レスポンス

HTTP STATUS 応答のみ

4.3.5. 通話終了

通話終了・話中・未応答等により通話サービスが終了した時点でのリクエスト

① リクエスト

通話概況情報が付加される。その他は callServiceTp を除き、架電開始リクエストと同様

callServiceTp	Num	○	6 (通話終了) が設定される。
---------------	-----	---	------------------

callOverview

プロパティ	属性	必須	用途
terminateReason	Num	○	通話切断理由
		値	次ページ通話切断理由コード一覧参照
incomingTime	String	△	Nexmile クライアントが架電開始した時刻。通常設定されるが、クライアント側の送信エラーにより、Nexmile サーバ側でサービス要求の廃棄処理を行った場合は未設定となる。 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
connectTime	String	△	通話接続開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
terminateTime	String	○	通話終了時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
talkingSec	Num	○	通話秒数
chargePrice	Num	○	架電準備レスポンスで設定された課金情報(serviceCharge)の値
chargeUnitSec	Num	○	
pointPrice	Num	○	
startPoint	Num	○	通話開始時点でのユーザの保有ポイント 架電準備レスポンスで設定されたユーザ情報(user)のcurrentPointが設定される。
talkingPoint	Num	○	課金情報を元に Nexmile サーバが計算した利用ポイント
autoChargePoint	Num	○	通話中に連携先システムにより加算されたポイント
outsideUsagePoint	Num	○	通話中に連携先システムにより減算されたポイント

通話切断理由コード一覧

理由名	値	通話成立	理由
架電者切断	1	○	架電者による切断
受電者切断	2	○	受電者による切断
利用可能時間満了	3	○	利用可能時間を満了したため、Nexmile サーバにより切断
管理者切断	4	○	Nexmile 管理システムにより運営者が切断
発信中止	- 1	—	架電者が発信を中止
入電通知不達	- 2	—	入電の通知が受電者に届いていない。
話中	- 4	—	通話中。受電先がアプリの場合アプリの別機能を使用していることで Nexmile サーバまたはクライアントにより報告される。
拒否	- 5	—	受電者受話拒否
発信時間満了	- 6	—	指定された呼出時間を経過により、Nexmile クライアントにより切断
架電開始なし	- 8	—	架電準備リクエストは正常に終了したが、その後 Nexmile クライアントから Nexmile サーバへの接続が開始されないことにより Nexmile サーバが呼を破棄したことにより発生する。 Nexmile クライアントのネットワーク障害、ユーザによるアプリ強制終了等で接続が開始されていない状態。
強制終了	- 9	—	Nexmile サーバ内部エラー時に設定される。

- ② レスポンス
HTTP STATUS 応答のみ

- ③ talkingSec の再計算

Nexmile サーバ内では全ての時刻がミリ秒単位で保持されている。秒単位での通話時間を算出する際に 500ms での四捨五入が発生する。インターフェースのために秒表記に変更された terminateTime から connectTime を減算した結果と最大 1 秒の差異が発生する。

連携先システムが秒単位の精度により切上げや切捨ての処理を行う必要がある場合には terminateTime、connectTime を日付型として再度通話時間を計算する必要がある。

5. ライブ配信・視聴サービス

ライブ配信・視聴のシステム間連携に関して記載する。

5.1. ライブサービスリクエスト概要

ライブサービスの要求は既定のクラスを JSON にシリアル化し、さらにそのシリアル化テキストを URL エンコードしたものを POST により連携先サーバに要求する。尚、C#によるクラス定義のサンプルは <https://dl.stream-works.biz/download/sample/LinkSite.txt> 及び <https://dl.stream-works.biz/download/sample/LinkLiveService.txt> を参照のこと。

リクエストは以下の形式で実行される。

`https://test.com/liveService?siteKey= test.key`

「`https://test.com/liveService`」は設定仕様書に基づく URL となる。

Query 文字列 `siteKey` は連携先システムで POST データのパス前に、要求の事前承認を行うために使用する。また要求の本体は POST されるので、連携先システムの使用システムに併せて取得を行う。

5.1.1. ライブサービス要求クラス概要

① クラス階層図



② クラス用途概要

class	名称	必須	用途
linkSite	連携先情報	○	連携先サーバが Nexmile サーバの要求先サイトを識別するための siteToken が設定されている。連携先サーバは siteToken よりサイトを特定する。
linkLiveService	ライブ情報	○	ライブ配信・視聴に関するリクエストが設定される。

5.1.2. リクエスト一覧

以下のリクエストが Nexmile サーバから連携先サーバにリクエストされる。連携先サーバは全ての要求に対してレスポンスを生成する必要がある。但し、表中の応答コード有効が「-」のリクエストについては、Nexmile サーバ側でレスポンスを参照した実装は存在しないため、HTTP ステータス 200 応答のみとする。仮にレスポンスを生成した場合には不要なトラフィックが発生しているため考慮する必要がある。

表中の応答コード有効が「○」のリクエストについては 3.3.1 連携先サーバレスポンス方法①または②によりレスポンスを生成する必要がある。

レスポンスの「result」が 0 以外の場合、リクエストは拒否されたとして、Nexmile サーバにより Nexmile クライアントに向けてレスポンスが生成される。Nexmile クライアントは連携先サーバが設定したメッセージを表示しリクエストを終了する。

① リクエスト一覧

要求	要求 ID liveServiceTp	応答 コード有効	必須レスポンス			再送
			user	serviceCharge	liveService	
配信準備	11	○	○	○	○	-
配信開始	12	○	-	-	-	-
配信終了	13	-	-	-	-	○
有料配信切り替え	14	○	-	○	-	-
配信者による視聴者強制退出	15	○	-	-	-	-
配信中止	29	-	-	-	-	○
管理者による視聴者強制退出	95	-	-	-	-	-
管理者によるメッセージ送信	97	-	-	-	-	-
視聴準備	31	○	○	○	○	-
視聴開始	32	○	-	-	-	-
視聴終了	33	-	-	-	-	○
スタンプ送信	5	○	-	-	-	-
ギフト送信	6	○	-	-	-	-
コメント書込み	7	○	-	-	-	-
お気に入り登録	34	-	-	-	-	-
有料視聴切り替え	35	○	-	-	-	-
視聴者情報更新	36	○	○	○	○	-
管理者による視聴者強制退出	95	-	-	-	-	-

※網掛け部について

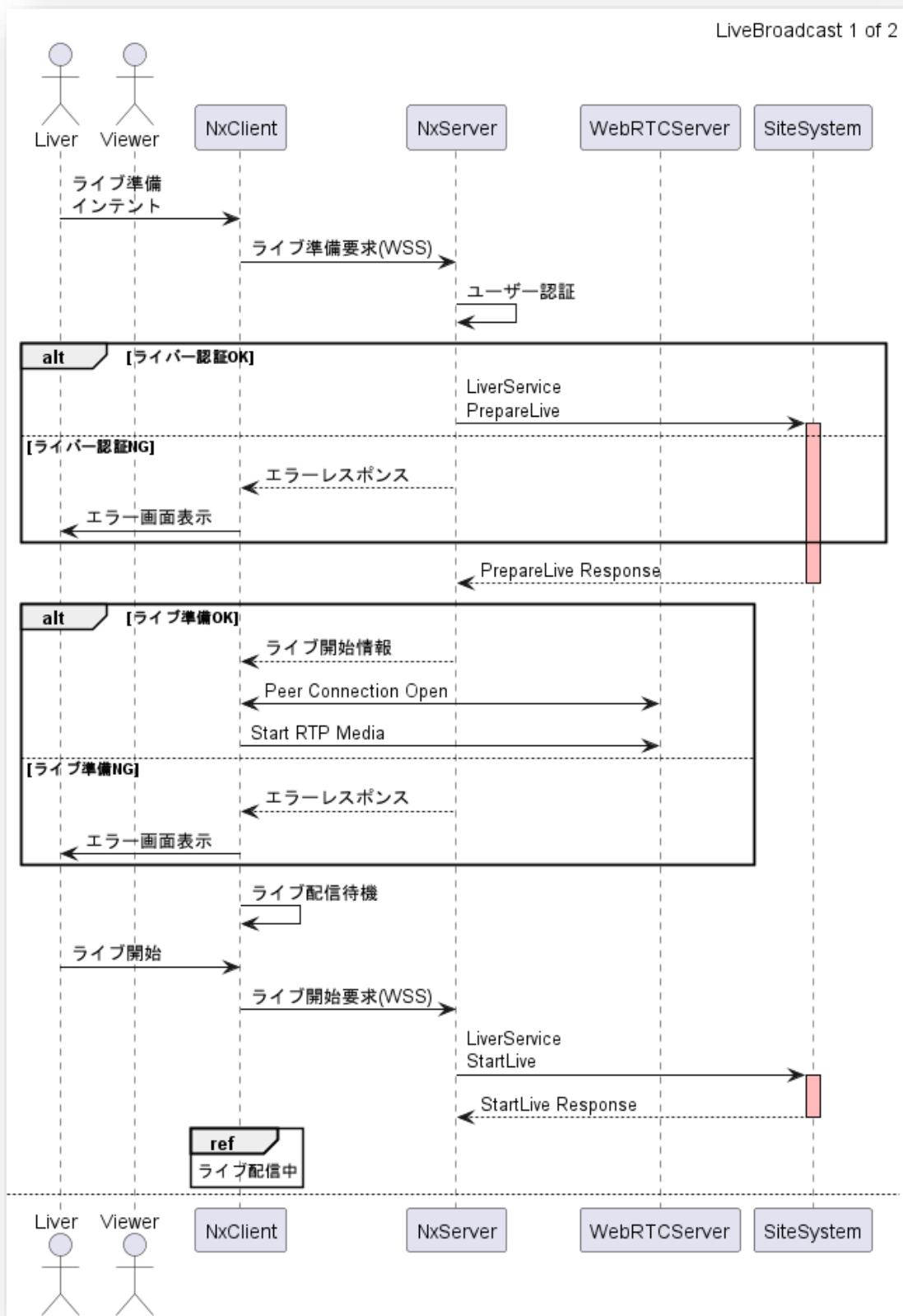
1.2.4 Nexmile クライアントでは未実装の機能を参照

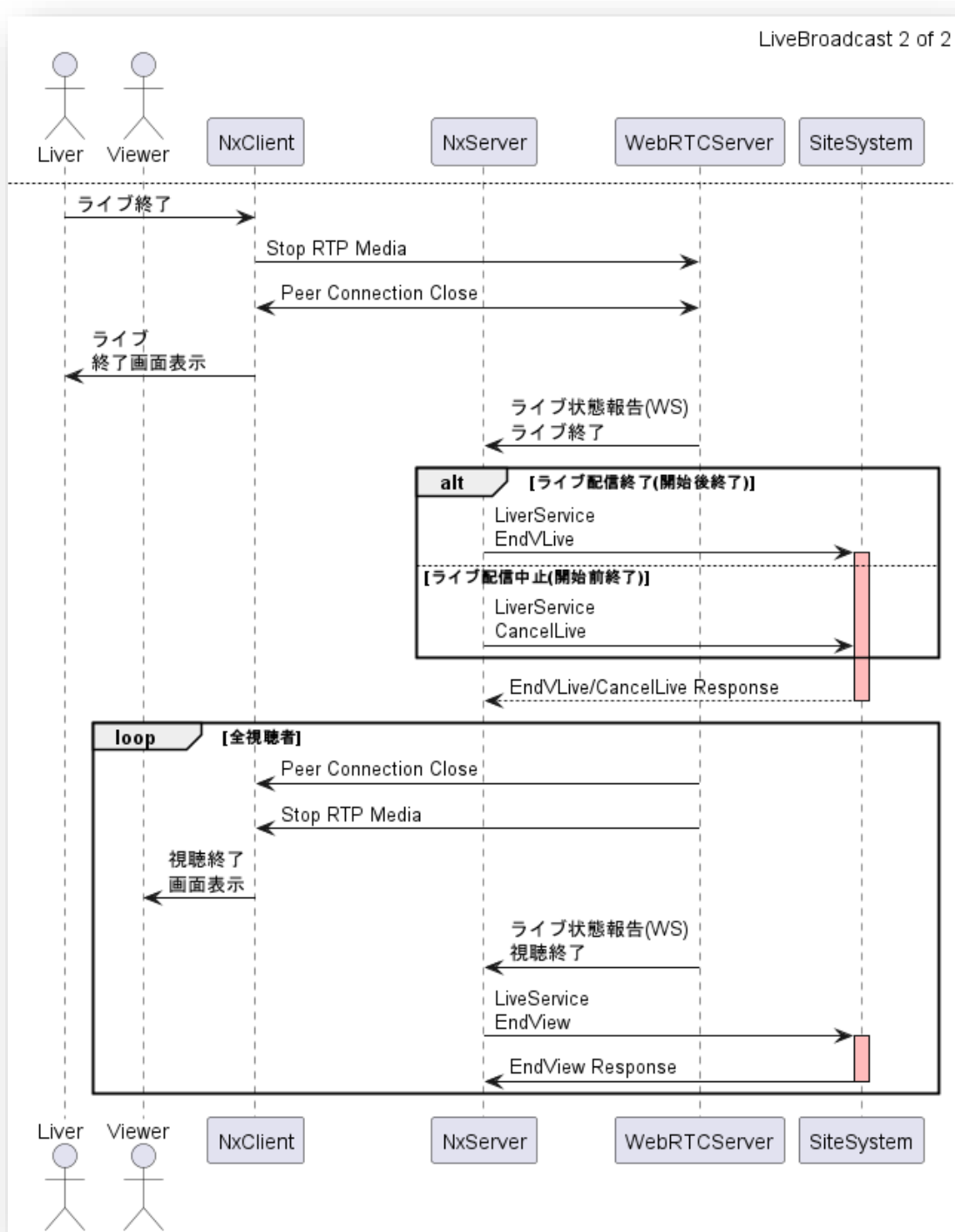
② レスポンスタイムアウトと再送

4.2.2 ①と同様

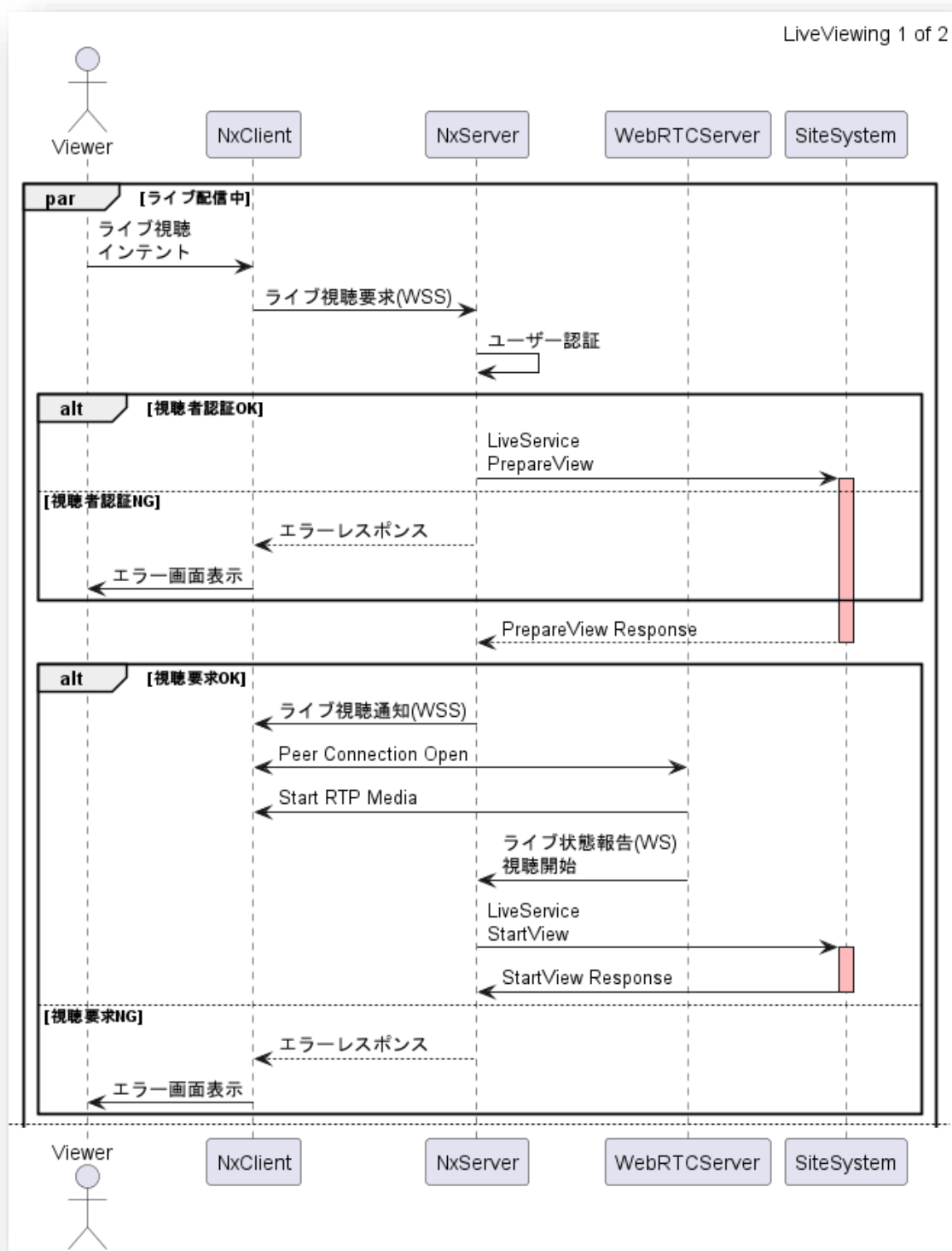
5.2. シーケンス図

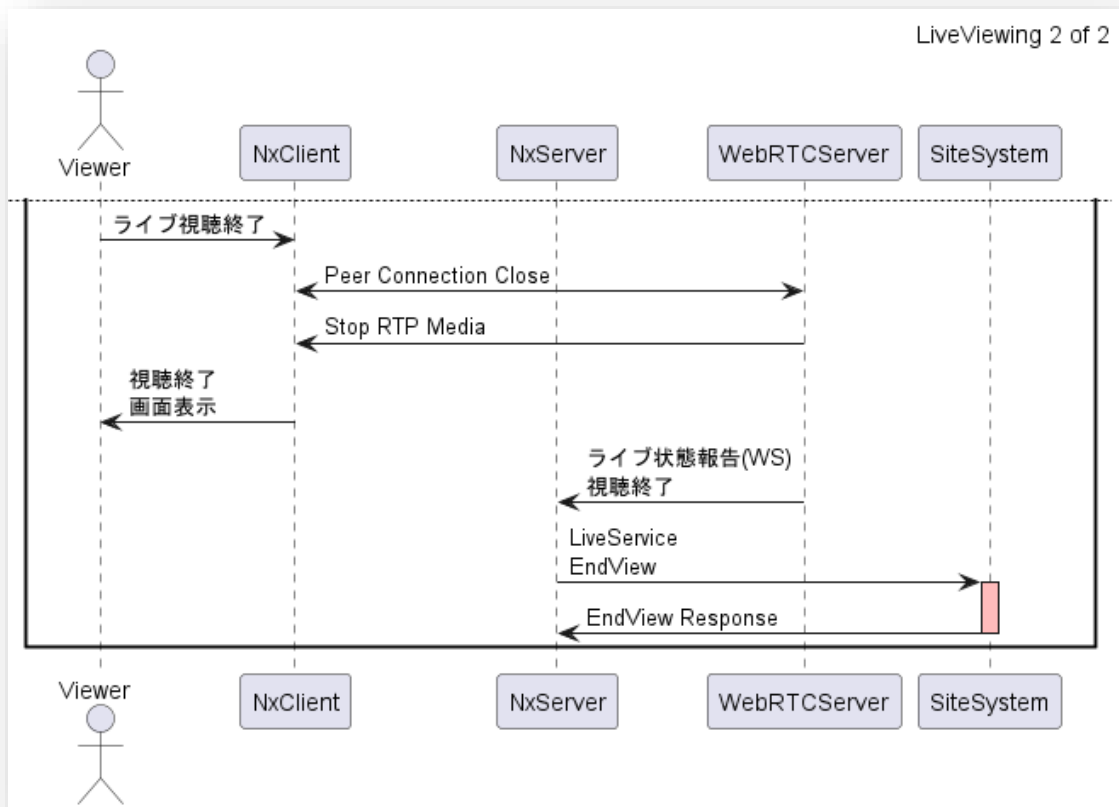
5.2.1. ライブ配信準備から配信終了まで



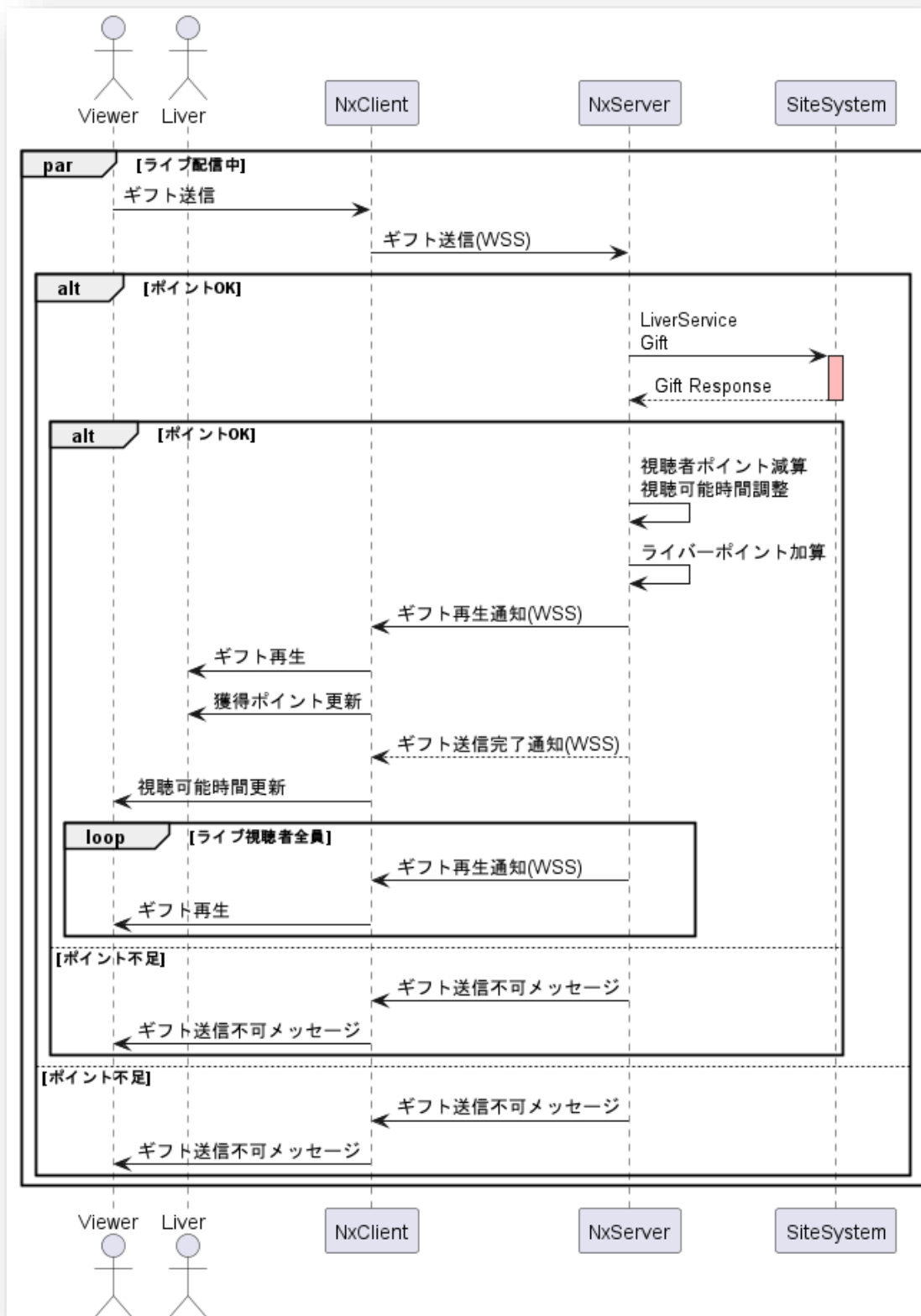


5.2.2. ライブ視聴準備から視聴終了まで

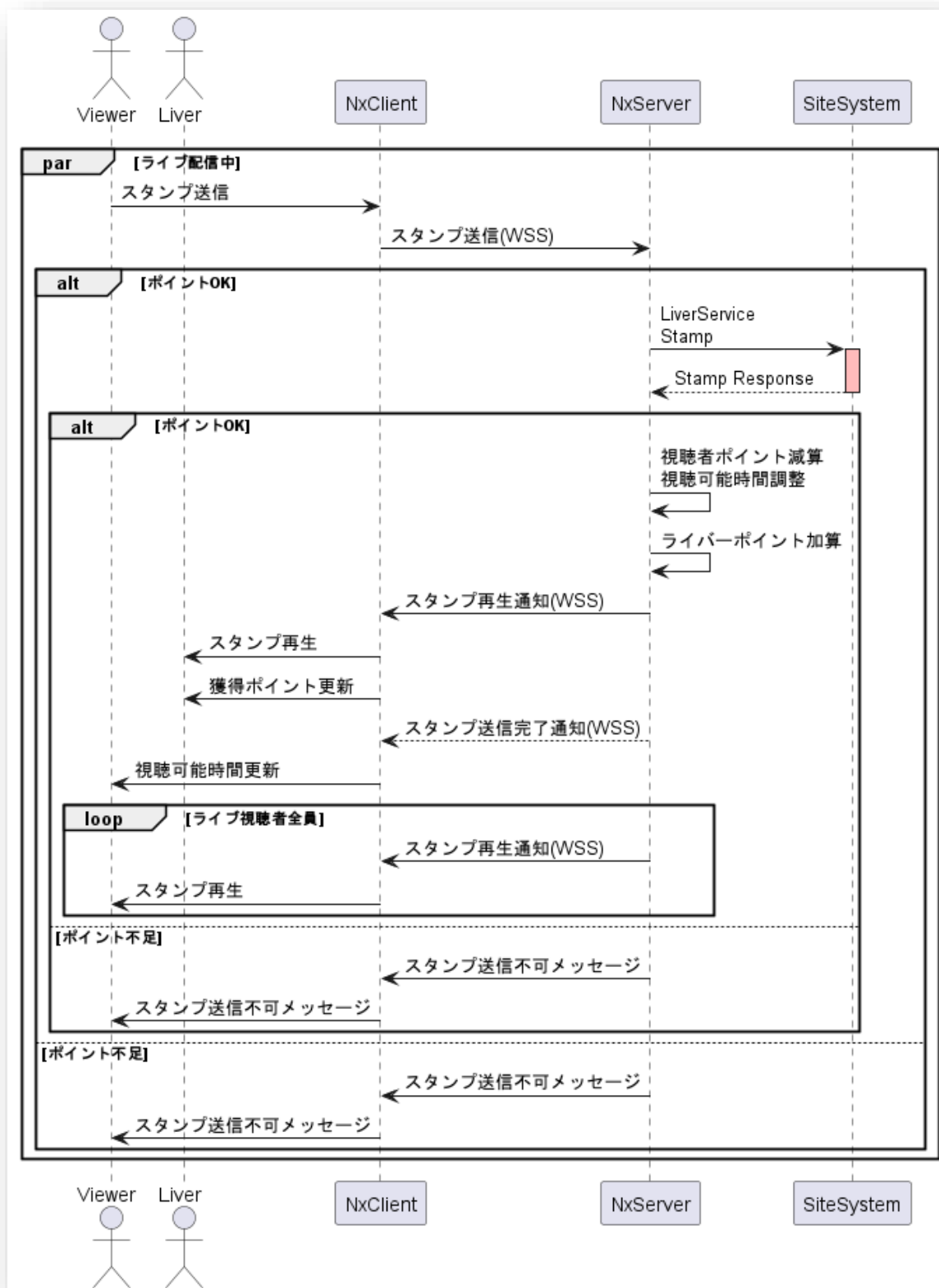




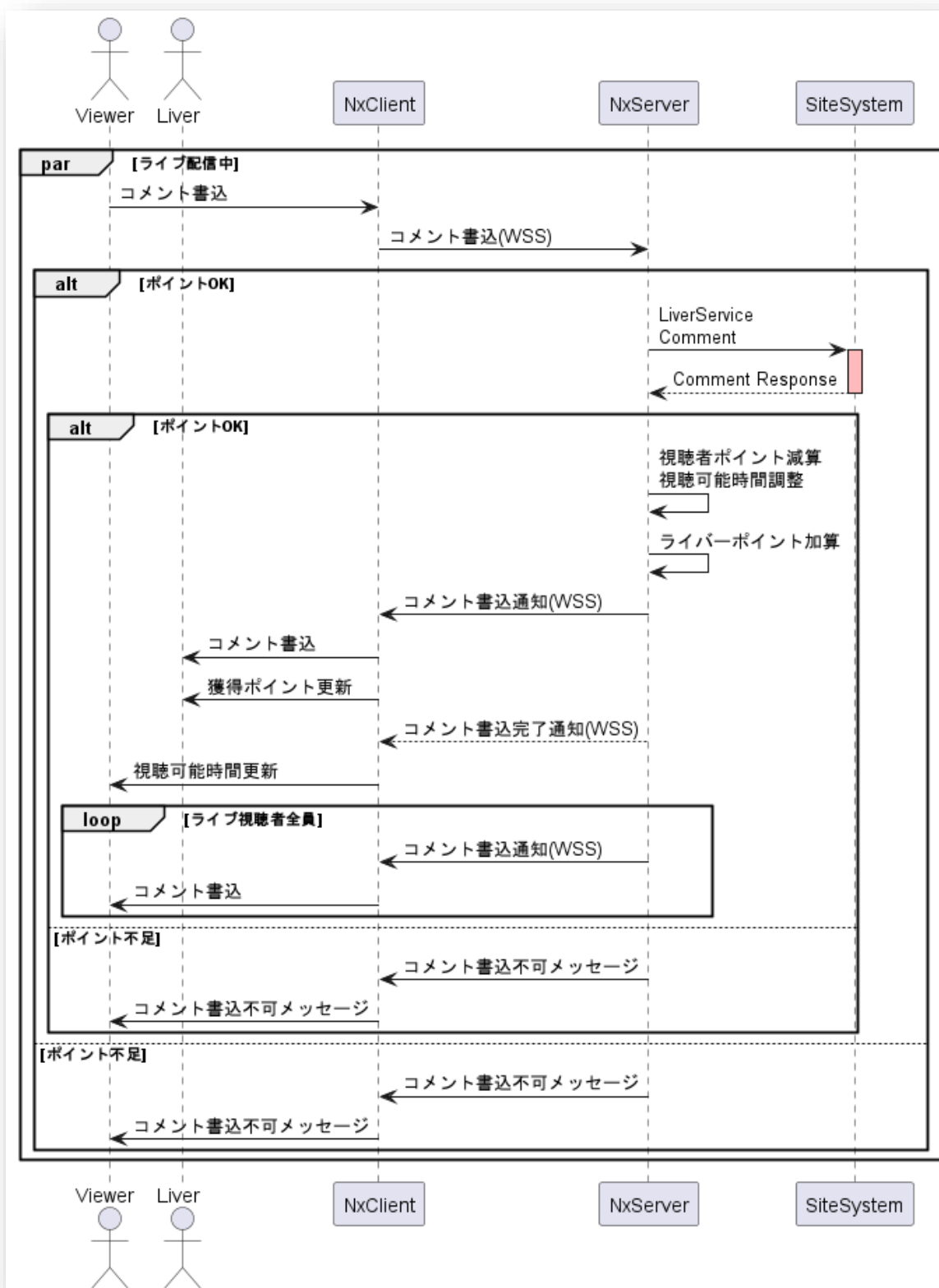
5.2.3. ギフト送信



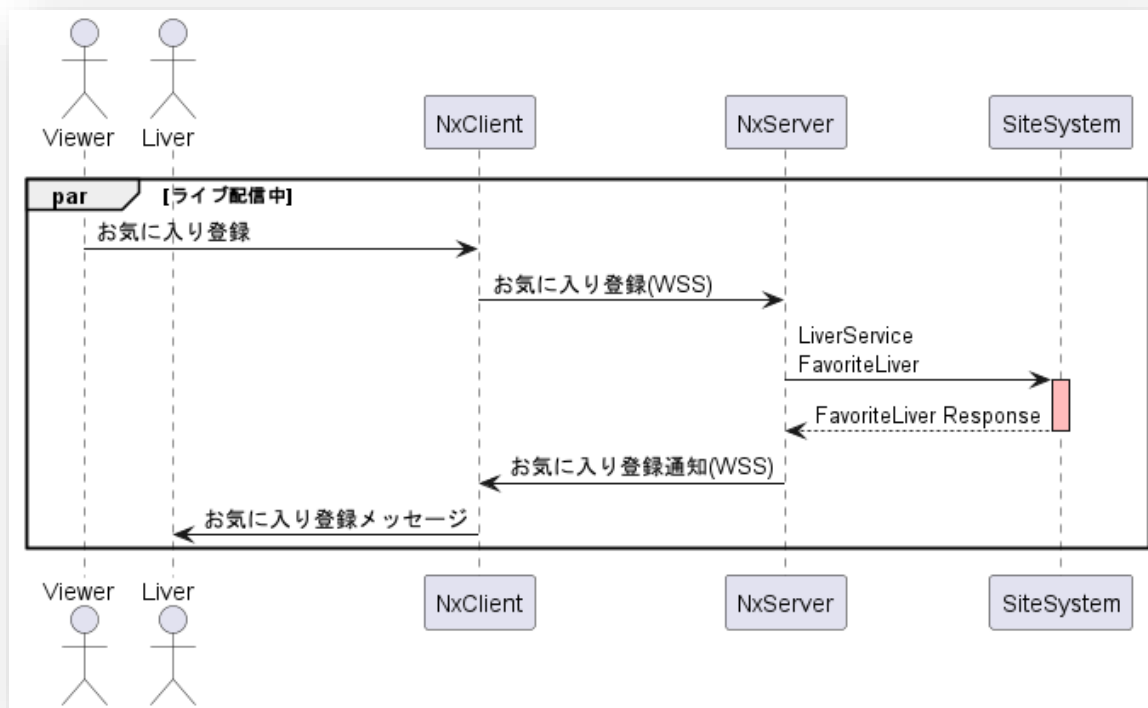
5.2.4. スタンプ送信



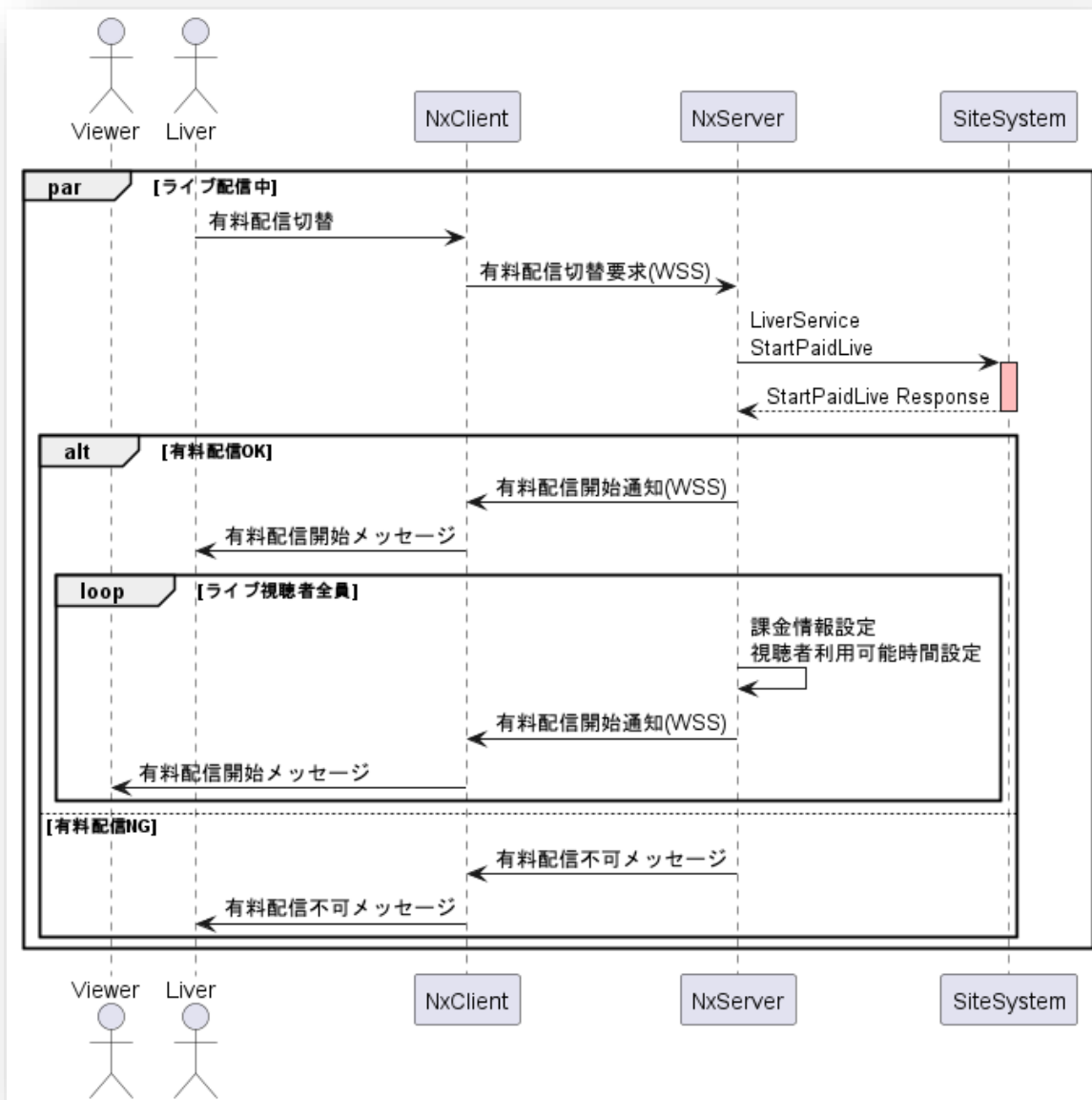
5.2.5. コメント書込み



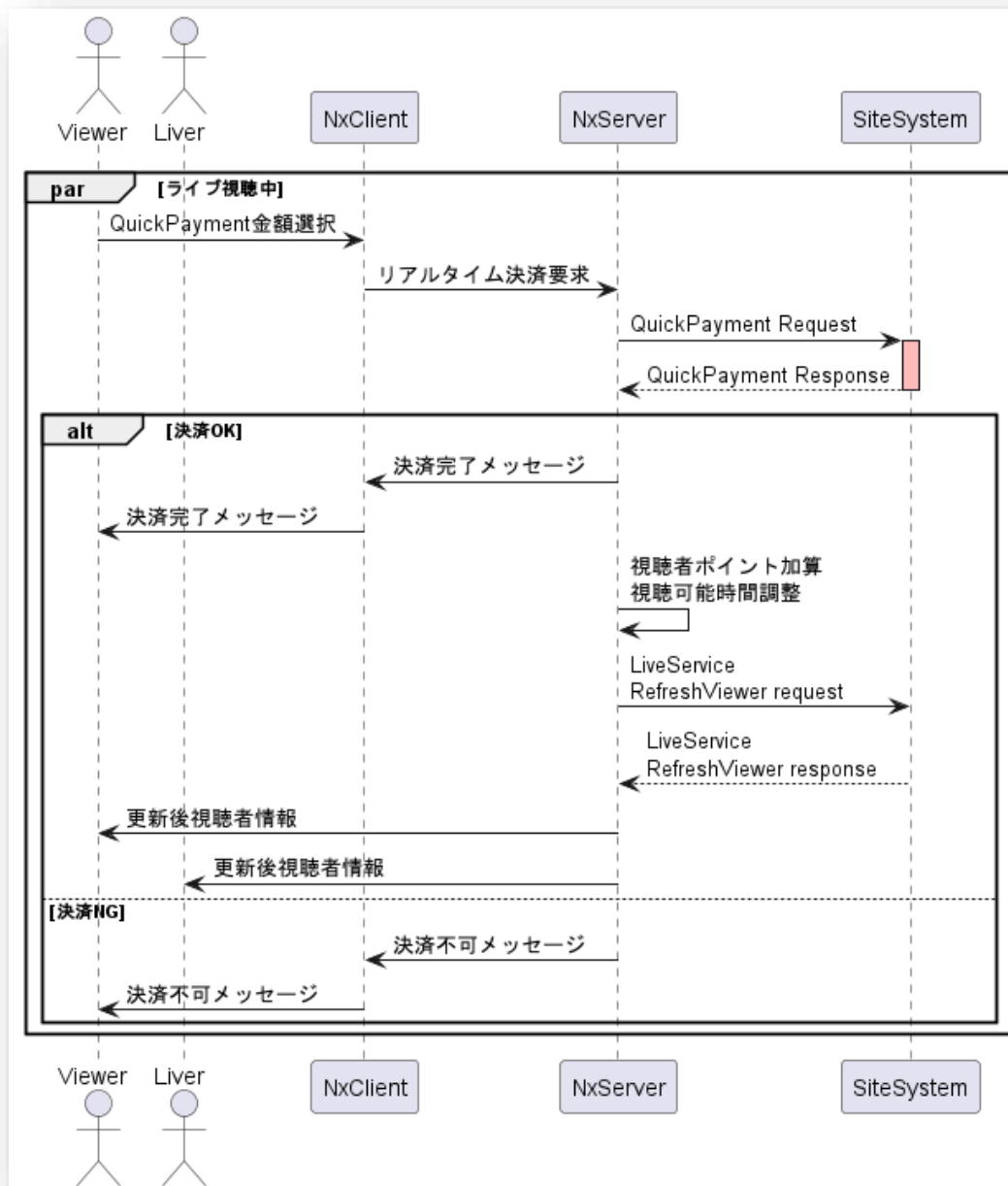
5.2.6. お気に入り登録



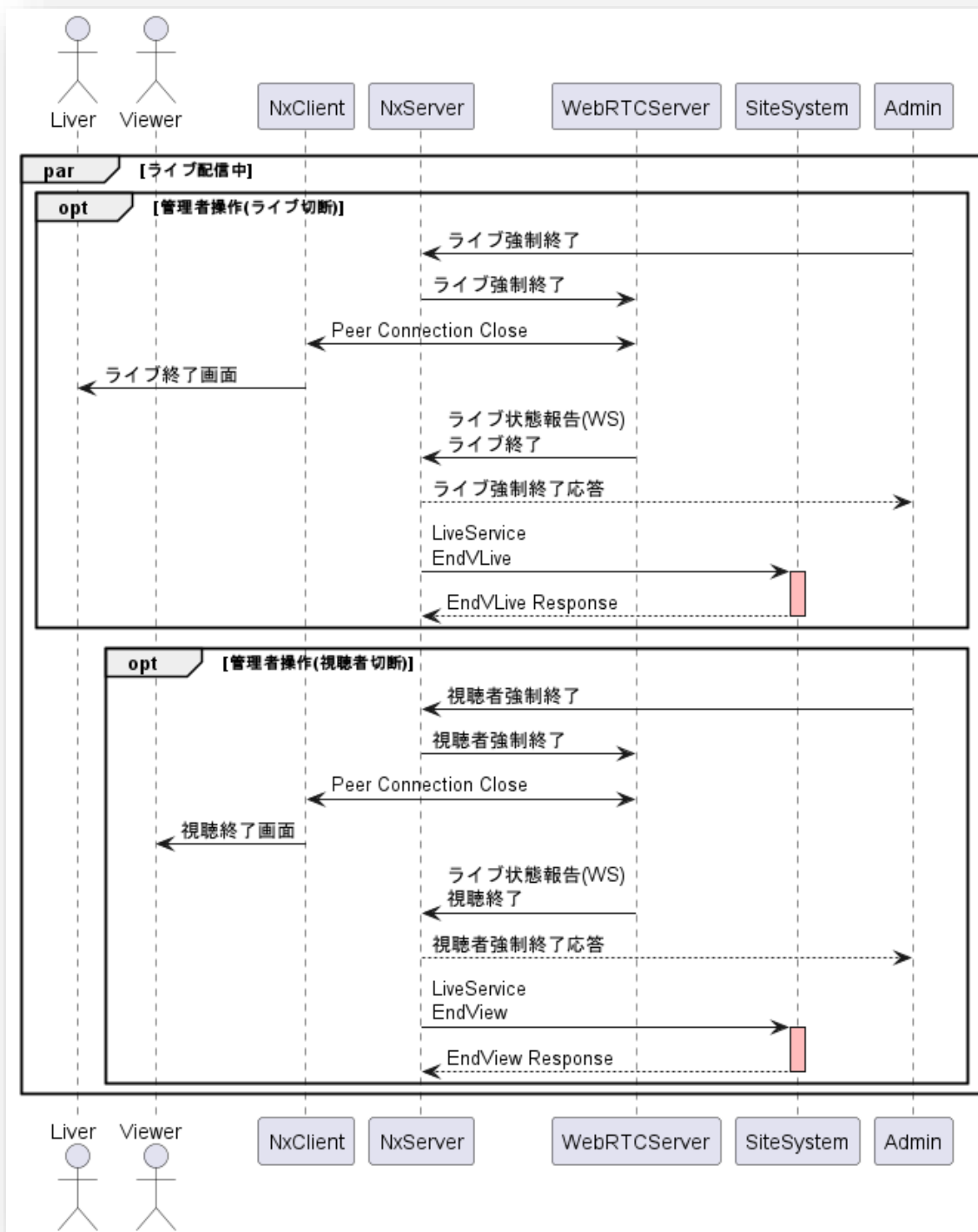
5.2.7. 有料配信切り替え



5.2.8. リアルタイム決済



5.2.9. 管理者切断



5.3. ライブサービスリクエスト詳細

5.3.1. 配信準備

アプリリンクにより配信開始を選択した時点で発生するリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	1 1（配信準備）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID 連携先システムがライブを管理する場合、連携先システムのユニークキーと紐つける必要がある。
linkId	String	○	アプリリンクで設定された連携先システムでライブを特定するための ID
userId	String	○	連携先システムユーザ ID
appVer	String	○	アプリバージョン 99.99.99 フォーマット
deviceName	String	○	利用端末名称
osVer	String	○	利用端末 OS バージョン
startTime	String	○	要求開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

② レスポンス

プロパティ	属性	必須	用途
user	Class	○	「3.3.3 レスポンス共有クラス」参照 配信者のユーザ情報を設定する。
serviceCharge	Class	○	「3.3.3 レスポンス共有クラス」参照 下記の例のような、配信者と視聴者でポイント単価、課金単位等が異なる運用である場合、それぞれの値を設定する必要がある。 (例) 1 ポイントの単価 有料配信時課金秒数 配信者 1円 15秒 視聴者 10円 60秒
liveService	Class	○	次ページ参照

liveService

プロパティ	属性	必須	用途
linkId	String	○	リクエストの linkId と同値であることが必須
janle	String	—	ライブのジャンル
title	String	—	ライブのタイトル
description	String	—	ライブの説明
liverCommentPoint	Num	—	配信者設定不要
commentChargeLen	Num	—	配信者設定不要
commentChargePoint	Num	—	配信者設定不要
commentGuide	String	—	Nexmile クライアントのコメント入力欄に表示されるガイダンス。
commentImageSize	Num	—	コメントの先頭に表示されるユーザイメージのサイズ
		範囲	20～32 デフォルト値は24
commentScaleWidth	Num	—	コメント表示の横サイズ。画面横サイズに対する割合を設定する
		範囲	30～99 デフォルト値は90%
commentScaleHeight	Num	—	コメント表示の縦サイズ。画面縦サイズに対する割合を設定する
		範囲	30～80 デフォルト値は30%
apngOnVideoProcessor	Bool	—	アニメーション PNG を配信者カメラ画像と合成するか否かを設定する。 「5.4.1 ギフト再生方法について」を参照
		値	デフォルト値は False
audioOnly	Bool	—	ライブが映像ありか無し(ラジオ配信)を設定
		値	デフォルト値は False
favorite	Bool	—	配信者設定不要
rankingMode	Num	—	視聴一覧の表示順序を指定する。
		値	1：ポイント消費降順 2：ポイント消費降順+視聴開始時刻降順 デフォルト値は1
viewerPokeCategoryNo	String	—	配信者設定不要
viewerPokeGiftNo	String	—	配信者設定不要
serverSideRecording	Bool	—	ライブ配信を Nexmile サーバ側で録画する。
		値	デフォルト値は False

次ページへ続く

LiveService

プロパティ	属性	必須	用途
nextAvailableCommentTime	Num	—	次回コメント書込み許可時間。単位はミリセカンド コメント送信ボタンの連打による多重送信を防止する目的で使用 する。指定された場合、指定時間を経過するまでコメント送信 ボタンが無効表示になる。
		範囲	100～2000 デフォルト値は0
nextAvailableGiftTime	Num	—	配信者設定不要
specialUrls	Class List	—	指定された URL のイメージを配信・視聴画面に表示する場合に 設定する。
specialGifts	Class List	—	配信者設定不要
specialFrames	Class List	—	管理機能により設定済みのコメントやガイダンスのフレーム表 示属性を一部変更する、または新しいフレームを作成する場合に 使用する。例として前景色・白で設定されているが、特定のユー ザのみ赤で表示してフォントサイズを18にする等の設定を行う ことができる。 「5.4.2 フレームカスタマイズ」参照
specialWordings	Class List	—	管理機能より設定済みのガイダンス文章の属性を一部変更する 場合に使用する。ガイダンス文書にはログインガイダンスやギフ ト送信ガイダンス等がある。利用例は上記と同様 「5.4.3 定型文章カスタマイズ」参照
specialMessages	Class List	—	配信開始後に所定のメッセージを Nexmile クライアントに表示 する場合に使用する。例として法礼順守を促すメッセージ等 「5.4.4 カスタムメッセージ」参照
quickPayments	Class List	—	配信者設定不要
serviceOptions	Num	—	視聴者のオプション。マスク値で設定する。
		値	1：プロフィールイメージを表示することを許可する。 2：録画・録音許可を許可する。 4：同一ライブの視聴に対して毎ログインガイダンスを出力す ることを許可する。

※網掛け部について

1.2.4 Nexmile クライアントでは未実装の機能を参照

5.3.2. 配信開始

配信者が配信準備から「配信開始」ボタンを押下することで、実際に配信が開始される直前で発生するリクエスト。連携先システムによりライブ配信を許可または不許可であることを判断する最終リクエストとなる。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	1 2（配信開始）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した ID
userId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	userId と同値
liverUserSubId	String	—	アプリリンクで設定された連携先システムサブユーザ ID
startTime	String	○	要求開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

② レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

5.3.3. 配信終了

配信者が配信を終了した、または管理者により切断された時点でのリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	1 3（配信終了）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した ID
userId	String	○	アプリリンクで設定された連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	userId と同値
liverUserSubId	String	—	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
startTime	String	○	配信を開始した時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
chargeStartTime	String	—	有料配信に変更した時刻 開始時点より有料配信の場合、startTime と同値 有料配信でない場合は未設定 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
endTime	String	○	配信を終了した時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
liveSec	Num	○	配信時間（秒数） 配信準備から終了した場合は「配信中止」を参照

② レスポンス

HTTP STATUS 応答のみ

5.3.4. 有料配信切り替え

配信者が配信途中から有料配信への切り替えを要求した時点でのリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	1 4（有料配信切り替え）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した ID
userId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	userId と同値
liverUserSubId	String	—	アプリリンクで設定された連携先システムサブユーザ ID
unitPrice	Num	○	有料配信希望単価
unitSec	Num	○	ライブ配信準備レスポンスの課金単位 配信者の報酬発生時間単位

② レスポンス

正常応答である場合は、serviceCharge をレスポンスする。

拒否応答である場合は 3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

serviceCharge

プロパティ	属性	必須	用途
serviceChargeTp	Num	○	2：ライブ課金情報
unitSec	Num	○	視聴者の消費発生時間単位 ※配信者の報酬発生時間単位ではないことに注意
unitPrice	Num	○	視聴者の消費金額
currentPoint	Num	○	0 を設定する。配信者は未使用
pointPrice	Num	○	視聴者の 1 ポイントの金額
freeTrialSec	Num	○	視聴者課金の開始を遅延させる秒数
autoChargeTriggerPoint	Num	○	0 を設定する。配信者は未使用
autoChargeTriggerUrl	String	—	未使用

5.3.5. 配信者による視聴者強制退出

配信者が配信中に視聴者一覧より、視聴者を選択し強制退出させた場合に発生するリクエスト。強制退出された視聴者の次回以降の視聴制限については Nexmile サーバでは管理していないため、連携先サーバにより視聴不可等の制御を行う必要がある。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	1 5（配信者による強制退出）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
userId	String	○	強制退出される視聴者のユーザ ID
liverUserId	String	○	配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	配信者のユーザサブ ID
startTime	String	○	要求開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

② レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

5.3.6. 配信中止

配信者が配信準備完了状態になると、Nexmile クライアントは「2.3.5 配信開始前イメージ」の画面状態となる。この時点ではまだ視聴が行える状態ではない。この状態から配信者が切断した時点で発生するリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	2 9（配信中止）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した ID
userId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	userId と同値
liverUserSubId	String	—	アプリリンクで設定された連携先システムサブユーザ ID
startTime	String	○	配信準備状態になった時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
endTime	String	○	配信中止した時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

② レスポンス

HTTP STATUS 応答のみ

5.3.7. 管理者による配信者強制退出

管理機能により管理者が配信者を強制切断した時点で発生するリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	9 6（管理者による配信者強制退出）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した ID
userId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	userId と同値
liverUserSubId	String	—	アプリリンクで設定された連携先システムサブユーザ ID
startTime	String	○	配信準備状態になった時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
endTime	String	○	切断要求時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
comment	String	—	切断時要求時に管理者が入力したコメント

② レスポンス

HTTP STATUS 応答のみ

5.3.8. 管理者によるメッセージ送信

管理機能により管理者が配信者にメッセージを送信した時点で発生するリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	9 7（管理者によるメッセージ送信）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した ID
userId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	userId と同値
liverUserSubId	String	—	アプリリンクで設定された連携先システムサブユーザ ID
startTime	String	○	要求時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
comment	String	○	管理者が入力したメッセージ

② レスポンス

HTTP STATUS 応答のみ

5.3.9. 視聴準備

アプリリンクにより視聴開始を選択した時点で発生するリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	3 1（視聴準備）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	アプリリンクで設定された連携先システムでライブを特定するための ID
userId	String	○	連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	配信者のユーザサブ ID
appVer	String	○	視聴者アプリバージョン 99.99.99 フォーマット
deviceName	String	○	視聴者利用端末名称
osVer	String	○	視聴者利用端末 OS バージョン
startTime	String	○	要求開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

② レスポンス

プロパティ	属性	必須	用途
user	Class	○	「3.3.3 レスポンス共有」クラス参照
serviceCharge	Class	○	「3.3.3 レスポンス共有」クラス参照 視聴者の消費情報を設定する。
liveService	Class	○	次ページ参照

linkLiveService

プロパティ	属性	必須	用途
linkId	String	○	リクエストの linkId と同値であることが必須
janle	String	—	ライブのジャンル
title	String	—	ライブのタイトル
description	String	—	ライブの説明
liverCommentPoint	Num	○	配信者が有料コメントを受け取った際の報酬ポイント
commentChargeLen	Num	○	何文字以上を有料コメントとするか。
commentChargePoint	Num	○	視聴者が有料コメントを送信した際の消費ポイント
commentGuide	String	—	Nexmile クライアントのコメント入力欄に表示されるガイダンス。
commentImageSize	Num	—	コメントの先頭に表示されるユーザイメージのサイズ
		範囲	20～32 デフォルト値は24
commentScaleWidth	Num	—	コメント表示の横サイズ。画面横サイズに対する割合を設定する
		範囲	30～99 デフォルト値は90%
commentScaleHeight	Num	—	コメント表示の縦サイズ。画面縦サイズに対する割合を設定する
		範囲	30～80 デフォルト値は30%
apngOnVideo Processor	Bool	—	アニメーション PNG を配信者カメラ画像と合成するか否かを設定する。 「5.4.1 ギフト再生方法について」を参照
		値	デフォルト値は False
audioOnly	Bool	—	ライブが映像ありか無し(ラジオ配信)を設定
		値	デフォルト値は False
favorite	Bool	—	視聴者が配信者をお気に入り登録しているか否か。
		値	デフォルト値は False
rankingMode	Num	—	視聴一覧の表示順序を指定する。
		値	1：ポイント消費降順 2：ポイント消費降順+視聴開始時刻降順 デフォルト値は1
viewerPokeCategory No	String	—	視聴者から配信者に挨拶で使用するギフトのカテゴリ番号 管理機能より挨拶用のカテゴリを作成し、そのカテゴリ番号を設定する。未設定の場合、視聴者挨拶は機能しない。
viewerPokeGiftNo	String	—	上記挨拶カテゴリ内に設定されている挨拶用のギフト番号 管理機能より挨拶用のカテゴリ内に挨拶用のギフトを設定する。 未設定の場合、視聴者挨拶は機能しない。
serverSideRecording	Bool	—	視聴者設定不要

次ページへ続く

linkLiveService

プロパティ	属性	必須	用途
nextAvailableCommentTime	Num	—	次回コメント書込み許可時間。単位はミリセカンド コメント送信ボタンの連打による多重送信を防止する目的で使用 する。指定された場合、指定時間を経過するまでコメント送信 ボタンが無効表示になる。
		範囲	100～2000 デフォルト値は0
nextAvailableGiftTime	Num	—	次回ギフト・スタンプ送信許可時間。単位はミリセカンド ギフト送信ボタンの連打による多重送信を防止する目的で使用 する。指定された場合、指定時間を経過するまでギフト送信ボタ ンが無効表示になる。
		範囲	100～2000 デフォルト値は0
specialUrls	Class List	—	指定された URL のイメージを配信・視聴画面に表示する場合に 設定する。
specialGifts	Class List	—	管理機能により設定済みのギフト・スタンプ情報を一部変更する 場合に使用する。例として通常非公開のギフトであるが、特定の ユーザにのみ公開する等の設定を行うことができる。 「5.4.5 限定スタンプ・ギフト公開」参照
specialFrames	Class List	—	管理機能により設定済みのコメントやガイダンスのフレーム表 示属性を一部変更する、または新しいフレームを作成する場合に 使用する。例として前景色・白で設定されているが、特定のユー ザのみ赤で表示してフォントサイズを 18 にする等の設定を行う ことができる。 「5.4.2 フレームカスタマイズ」参照
specialWordings	Class List	—	管理機能により設定済みのガイダンス文章の属性を一部変更す る場合に使用する。ガイダンス文書にはログインガイダンスやギ フト送信ガイダンス等がある。利用例は上記と同様 「5.4.3 定型文章カスタマイズ」参照
specialMessages	Class List	—	配信開始後に所定のメッセージを Nexmile クライアントに表示 する場合に使用する。例として法礼順守を促すメッセージ等 「5.4.4 カスタムメッセージ」参照
quickPayments	Class List	—	ライブ視聴中にポイント購入を行う場合に使用する。 「5.4.6 リアルタイム決済金種設定」参照
serviceOptions	Num	—	視聴者のオプション。マスク値で設定する。
			1：プロフィールイメージを表示することを許可する。 2：録画・録音許可を許可する。(視聴者利用不可) 4：同一ライブの視聴に対して毎回ログインガイダンスを出力す ることを許可する。

※網掛け部について

1.2.4 Nexmile クライアントでは未実装の機能を参照

5.3.10. 視聴開始

映像ありのライブ配信の場合、ユーザのネットワーク環境に依存して、映像の取得ができない場合がある。所定の時間 Nexmile クライアントが再取得を試行するが、最終的に映像の取得が失敗した場合には、有料配信時のユーザとのトラブルを避けるため、視聴を開始したことにはならない仕様である。

音声のみのライブ配信の場合は Nexmile クライアントからの接続確立時点で視聴開始が送信される。

当リクエストが連携先サーバに送信されている場合、ユーザが映像または音声を視聴できたことを連携先サーバに対して担保する。

また当リクエストは連携先システムによりライブ視聴を許可または不許可であることを判断する最終リクエストとなる。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	3 2（視聴開始）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	配信者のユーザサブ ID
appVer	String	○	視聴者アプリバージョン 99.99.99 フォーマット
osVer	String	○	視聴者利用端末 OS バージョン
startTime	String	○	要求開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
chargeStartTime	String	—	視聴対象配信が有料配信である場合に 要求開始時刻 + (視聴準備レスポンス・課金情報・freeTrialSec) の時刻が設定される。 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

② レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

5.3.11. 視聴終了

視聴者が視聴を終了した、管理者により切断された時点、または前述の視聴開始を所定時間 Nexmile サーバが受信できていないと判断した時点でのリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	3 3（視聴終了）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	配信者のユーザサブ ID
startTime	String	○	視聴開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
chargeStartTime	String	—	視聴対象配信が有料配信である場合に 課金開始時刻 + (視聴準備レスポンス・課金情報・freeTrialSec) の時刻が設定される。 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
endTime	String	○	視聴終了時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
point	Num	○	視聴消費ポイント 視聴対象配信が有料配信である場合に視聴に対する消費ポイントが設定される。ギフト・コメント等の消費ポイントは含まれていない。
liveSec	Num	○	endTime — startTime
chargeSec	Num	○	視聴課金対象秒数 視聴対象配信が有料配信である場合に endTime — chargeStartTime が設定される。

② スポンサー

HTTP STATUS 応答のみ

5.3.12. スタンプ・ギフト送信

視聴者がスタンプ・ギフト送信を実行した時点で発生するリクエスト。連携先サーバは送信要件（ポイント過不足）の確認を行い、レスポンスを生成する。

スタンプとギフトの相違点は liveServiceTp（5，6）のみとなる。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	5（スタンプ送信）または 6（ギフト送信）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	配信者のユーザサブ ID
startTime	String	○	要求時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
itemCategory	String	○	選択されたスタンプ・ギフトのカテゴリ No
itemNo	String	○	選択されたスタンプ・ギフトのアイテム No
point	Num	○	選択されたスタンプ・ギフトの消費ポイント
liverGiftPoint	Num	○	選択されたスタンプ・ギフトの配信者への報酬ポイント

② レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

5.3.13. コメント書込み

配信者・視聴者共にコメント書込みを実行した時点で発生するリクエスト。連携先サーバは送信要件（ポイント過不足）の確認を行い、レスポンスを生成する。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	7（ギフト送信）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	配信者のユーザサブ ID
startTime	String	○	要求時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
comment	String	○	書き込まれたコメント
commentLen	Num	○	コメントの文字数(バイト数ではない)
point	Num	○	配信者の場合は 0 が設定される。 視聴者の場合は視聴準備のレスポンスで設定されるコメント消費ポイント

② レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

5.3.14. お気に入り登録

クライアントアプリがお気に入り登録をサポートする場合に、視聴者がお気に入り登録した時点で発生するリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	3 4（お気に入り登録）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	お気に入り登録される配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	お気に入り登録される配信者のユーザサブ ID
startTime	String	○	要求時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
favorite	Bool	○	書き込まれたコメント
		値	True : お気に入り登録 False : お気に入り登録解除

② スポンズ

HTTP STATUS 応答のみ

5.3.15. 有料視聴切り替え

配信者がライブの途中から有料配信に切り替えを行い、連携先サーバにより承認された時点で発生するリクエスト。連携先サーバは視聴要件（ポイント過不足）の確認を行い、レスポンスを生成する。

尚、有料配信リクエストが承認された時点で視聴者の現在ポイントが有料配信の単価を下回る場合には、Nexmile サーバにより視聴者は自動的に切断される。よってこのリクエストが発生する視聴者は有料視聴を開始する要件を満たしていると Nexmile サーバが判断している。

またこのリクエストは配信中のライブが開始当初から有料配信である場合は発生しない。連携先サーバは視聴準備のレスポンスに視聴消費に関する値を設定する必要がある。

<仕様改定予定>

連携先サーバの処理一貫性を考慮した場合、開始当初から有料配信である場合も、当リクエストを送信することで視聴ユーザの消費ポイントを一元管理できると思われる。

よって連携先サーバが希望する場合は、当リクエストを送信するように改定予定

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	3 5（有料視聴切り替え）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	お気に入り登録される配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	お気に入り登録される配信者のユーザサブ ID
startTime	String	○	要求時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
chargeStartTime	String	○	有料配信要求時刻 + 有料配信レスポンスの freeTrialSec

② レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

5.3.16. リアルタイム決済

ライブ視聴中にユーザがポイントの追加を選択した時点で発生するリクエスト。Nexmile サーバは決済機能を有しないため、ユーザが選択した金種を連携先サーバにリクエストし、連携先サーバ側で決済の承認を行う。決済が正常に完了した場合、Nexmile サーバでは決済ユーザのポイント(利用可能時間)更新及び、決済後のユーザ情報を連携先サーバに問い合わせ、決済ユーザ及び配信者に送信する。

当リクエストは他で使用している LiveService インターフェースは使用せず、独自のリクエスト・レスポンスとなる。

またレスポンスタイムアウトについても、決済先システムの応答時間が関係するため別途設定されている。デフォルトでは180秒となっている。

- ① リクエスト URL
I/F 設定仕様書・リアルタイム決済に指定されている URL

- ② リクエスト方式
GET

- ③ リクエスト QUERY 項目

プロパティ	属性	必須	用途
siteKey	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
payment	Num	○	決済要求金額

- ④ レスポンス
決済が正常に完了した場合
下記項目が QUERY 形式でレスポンスされる。

プロパティ	属性	必須	用途
sid	String	○	リクエストを識別するために連携先サーバで管理する ID Nexmile サーバと突合の必要性が発生した場合に使用する。
userId	String	○	ポイント調整対象ユーザ ID
point	Num	○	増減するポイント 連携先サーバの現在ポイントではなく、連携先サーバで発生した増減の元となる値を設置する。
comment	String	—	決済内容の説明

決済が失敗した場合

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法「リクエストに対して拒否応答である場合」に従う。

5.3.17. 視聴者情報更新

後述「7.2 ユーザポイント更新」により連携先サーバを起点してユーザのポイントが更新された場合に、連携先サーバの仕様によってはユーザランクの変更等、ライブ視聴者の動作に影響する項目が連携先サーバ内で変更される可能性がある。

その際にライブ視聴者の動作を更新後の内容とするために当リクエストを使用する。当リクエストはユーザポイント更新が、Nexmile サーバ側で正常に処理された時点で発生するリクエストである。リクエストが正常に受け付けられた場合、視聴者の情報は更新され、視聴者本人及び配信者の Nexmile クライアントに送信される。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
liveServiceTp	Num	○	3 6（視聴者情報更新）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先 LINK ID
userId	String	○	視聴準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
liverUserId	String	○	配信者のユーザ ID
liverUserSubId	String	—	配信者のユーザサブ ID
appVer	String	○	視聴者アプリバージョン 99.99.99 フォーマット
osVer	String	○	視聴者利用端末 OS バージョン
startTime	String	○	要求開始時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット

② レスポンス

5.3.7 視聴準備のレスポンスと同様

連携先サーバが視聴準備リクエストと同様の処理を行えるように、レスポンスは準備リクエストと同様としている。

5.3.18. 管理者による視聴者強制退出

管理機能により管理者が視聴者を強制切断した時点で発生するリクエスト。

① リクエスト

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	3.1.2 共通パラメータ
liveServiceTp	Num	○	9 4（管理者による視聴者強制退出）が設定される。
liveToken	String	○	Nexmile サーバ側でライブを特定するための ID
linkId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した ID
userId	String	○	配信準備のレスポンスで取得した連携先システムユーザ ID
startTime	String	○	要求時刻 yyyy/MM/dd HH:mm:ss フォーマット
comment	String	—	切断時要求時に管理者が入力したコメント

② スポンズ

HTTP STATUS 応答のみ

5.4. ライブカスタマイズ仕様詳細

5.3 までの仕様により Nexmile サーバ・クライアント共に標準的な動作を提供する。実際のライブ配信においては娯楽性や視認性を向上させるためにデザインも重要な要素となる。

Nexmile クライアントでは各デザインパーツを指定により変更することが可能であり、当節はその仕様について記述されている。

5.4.1. ギフト再生方法について

Nexmile クライアントではアニメーション PNG（ギフト）の再生方法が2種類ある。

1つは再生対象者全員が、使用するスマートフォン内で対象の APNG を再生する方法で、もう1つは配信者のカメラ映像と合成し、配信画像として APNG を見ることができる方法

前者の場合、最前面で再生することができるためコメント表示の上に APNG を再生することができる。デメリットとして、各スマートフォンの性能差や APNG を事前にダウンロード済みか否かにより、再生の開始タイミングがずれる可能性がある。

後者の場合、配信映像となるので全員が同じタイミングで APNG の再生を見ることができる。デメリットとして、最前面にすることはできないため、再生画像の上にコメント表示が上書きされたままの状態となる。

5.4.2. フレームカスタマイズ

Nexmile クライアントのコメント・ガイドンス表示の際には囲み枠・前景色・背景色等の装飾が施されている。それを Nexmile ではフレームと称する。

フレームは管理機能によりコメント種別・ガイドンス種別に管理機能により設定することができるが、ユーザの特定の条件等により個別に変更したい場合、配信開始レスポンス・視聴開始レスポンス・視聴者情報更新レスポンスの specialFrames を設定することで、個別にカスタマイズすることができる。設定可能なフレーム種別は以下の通り。

① フレーム種別一覧

frameDesignTp	種類	用途
1	配信者・コメント	配信者がコメント書込み時
1 1	配信者・P o k e	配信者が視聴者に Poke を送信時
1 2	配信者・P o k e 有料返信受取	配信者が有料の Poke 返信を受け取った時
1 3	配信者・P o k e 無料返信受取	配信者が無料の Poke 返信を受け取った時
2 1	配信者・有料ギフト受取	配信者が有料のギフトを受け取った時
2 2	配信者・無料ギフト受取	配信者が無料のギフトを受け取った時
2 3	配信者・有料スタンプ受取	配信者が有料のスタンプを受け取った時
2 4	配信者・無料スタンプ受取	配信者が無料のスタンプを受け取った時
2 5	配信者・有料配信開始	配信者が有料配信に切り替えたとき
5 1	視聴者・視聴開始	視聴者が視聴を開始した時
5 2	視聴者・有料コメント	視聴者が有料コメント書込み時
5 3	視聴者・無料コメント	視聴者が無料コメント書込み時
5 4	視聴者・お気に入り登録	視聴者がお気に入り登録した時
6 1	視聴者・有料P o k e 返信	視聴者が有料の Poke を返信した時
6 2	視聴者・無料P o k e 返信	視聴者が無料の Poke を返信した時
7 1	視聴者・有料ギフト送信	視聴者が有料のギフトを送った時
7 2	視聴者・無料ギフト送信	視聴者が無料ギフトを送った時
7 3	視聴者・有料スタンプ送信	視聴者が有料のスタンプを送った時
7 4	視聴者・無料スタンプ送信	視聴者が無料のスタンプを送った時
1 0 1 ～ 1 0 9	ユーザ定義 1～9	OEM 提供アプリにおいて定義される

- ② specialFrames 詳細
liveSpecialFrame をリスト化したクラスメンバ

liveSpecialFrame

プロパティ	属性	必須	用途
frameDesignTp	Num	○	適用先をフレーム種別一覧から選択
foreColor	String	—	フレーム内の文字色 ARGB を十六進表記で設定する。 最初の A は不透明度を現わす。 (例) FFFF0000 ->赤 100%の不透明度 7FFF0000 ->赤 50%の不透明度 以降カラー指定に関しては全て同様
backColor	String	—	フレーム内の背景色
borderColor	String	—	フレーム外枠の色
borderWidth	Num	—	外枠の幅
		範囲	0,1 から 9,9
borderCircular	Num	—	外枠の丸み
		範囲	0 から 99.9
fontSize	Num	—	フレーム内の文字サイズ
		範囲	8.0 ~ 24.0
paddingVertical	Num	—	外枠と文字の垂直方向の空間サイズ
		範囲	0,1 から 99.0
paddingHorizontal	Num	—	外枠と文字の水平報告の空間サイズ
		範囲	0,1 から 99.0

5.4.3. 定型文章カスタマイズ

ライブ中の各ユーザ動作により、Nexmile サーバ側から Nexmile クライアントに対してその動作に該当するガイダンスが送信される。ガイダンスは「文章+動的に変換される置換文字列」で構成されており、その置換文字列毎にフォントサイズ・色・不透明度を設定することができる。

連携先サーバはユーザの特定条件により、強調表示や置換文字列除外等の条件を個別に変更したい場合、配信開始レスポンス・視聴開始レスポンス・視聴者情報更新レスポンスの specialWordings を設定することで、個別にカスタマイズすることができる。設定可能な定型文章種別は以下の通り。

① 定型文章一覧

wordingTp	種類	デフォルト値設定	サポートする置換文字列
1	ライブ開始	%Tran.UserName%ライブはじめました	%Tran.UserName%
2	Poke 送信	ライバーが%Tran.UserName%に Poke しました	%Tran.UserName%
3	有料ギフト受け取り	%Tran.UserName%よりギフト%Tran.GiftPointText%受取ました	%Tran.UserName% %Tran.GiftPointText% %Tran.GiftName%
4	無料ギフト受け取り	%Tran.UserName%よりギフト受取ました	%Tran.UserName% %Tran.GiftName%
5	有料スタンプ受け取り	%Tran.UserName%よりスタンプ%Tran.GiftPointText%受取ました	%Tran.UserName% %Tran.GiftPointText% %Tran.GiftName%
6	無料スタンプ受け取り	%Tran.UserName%よりスタンプ受取ました	%Tran.UserName% %Tran.GiftName%
7	配信者コメント	%Tran.UserName%:%Tran.Comment%	%Tran.UserName% %Tran.Comment%
8	Poke 有料返信受け取り	%Tran.UserName%より POKE%Tran.LiverPokePoint%pt 受取ました	%Tran.UserName% %Tran.LiverPokePoint%
9	Poke 無料返信受け取り	%Tran.UserName%より POKE 受取ました	%Tran.UserName%
1 1	配信者ブロック完了	%Tran.BlockUserNm%を%Tran.Description%によりブロックしました	%Tran.BlockUserNm% %Tran.Description%
1 2	配信者ブロック解除完了	%Tran.BlockUserNm%のブロックを解除しました	%Tran.BlockUserNm%
1 3	視聴者有料視聴開始	有料配信が開始されました。%Tran.UnitPrice%/分	%Tran.UnitPrice% %Tran.UnitSec%
2 1	視聴開始	%Tran.UserName%イン	%Tran.UserName%
2 2	視聴者コメント	%Tran.UserName%:%Tran.Comment%	%Tran.UserName% %Tran.Comment%
2 3	お気に入り登録	%Tran.UserName%:%Tran.LiverName%をお気に入り登録しました。	%Tran.UserName% %Tran.LiverName%

次ページへ続く

wordingTp	種類	デフォルト値設定	サポートする置換文字列
3 1	有料 Poke 返信	%Tran.UserName%:Poke を%Tran.PokePointText%返しました	%Tran.UserName% %Tran.PokePointText%
3 2	無料 Poke 返信	%Tran.UserName%:Poke を返しました	%Tran.UserName%
3 3	有料ギフト プレゼント	%Tran.UserName%:ギフトを%Tran.GiftPointText%送りました	%Tran.UserName% %Tran.GiftPointText%
3 4	無料ギフト プレゼント	%Tran.UserName%:ギフト送りました	%Tran.UserName%
3 5	有料スタンプ プレゼント	%Tran.UserName%:スタンプを%Tran.GiftPointText%送りました	%Tran.UserName% %Tran.GiftPointText%
3 6	無料スタンプ プレゼント	%Tran.UserName%:スタンプ送りました	%Tran.UserName%

- ② specialWordings 詳細
specialWording をリスト化したクラスメンバ

specialWording

プロパティ	属性	必須	用途
wordingTp	Num	○	適用先を定型文章一覧から選択
wording	String	○	wordingTp に応じた文章を設定する。 置換文字列は含まなくてもよい。但しサポートされない置換文字列が文章中に含まれる場合、その箇所は削除される。
placeholderColors	List class	—	置換文字列毎に文字色・サイズを変更する場合設定する。 設定されない場合、該当するフレームの前景色で表示される。

- ③ placeholderColors 詳細
livePlaceholderColor をリスト化したクラスメンバ

livePlaceholderColor

プロパティ	属性	必須	用途
placeholder	String	○	設定する置換文字列（サポートされる置換文字列に限る） %%は不要 %Tran.UserName%の場合は Tran.UserName とする。
foreColor	String	—	文字色 ARGB 形式
fontSize	Num	—	置換文字列の文字サイズ
		範囲	8.0 ~ 24.0

5.4.4. カスタムメッセージ

ライブ配信開始時の注意事項やイベントのお知らせ等、配信・視聴の開始後、Nexmile クライアントにポップアップメッセージを表示する場合に設定する。

カスタムメッセージでは指定の時間経過後に表示されるポップアップの位置や、表示時間等を設定することができる。

- ① specialMessages 詳細
lievSpecialMessage をリスト化したクラスメンバ

lievSpecialMessage

プロパティ	属性	必須	用途
connectAfterSec	Num	○	配信・視聴の開始後、設定された秒数を経過後にメッセージが表示される。
		範囲	5～3600 単位：秒
displayDuration	Num	○	メッセージの表示時間
		範囲	1～30 単位：秒
message	String	○	表示するメッセージ
frame	Class	—	カスタムメッセージを表示するためのフレームを指定する。フレームの詳細は「5.4.2 ②フレームカスタマイズ」を参照 未指定の場合、Nexmile クライアント標準のフレームが使用される。
alignmentX	Num	—	横軸方法の表示座標を設定する。中心を0.0として左端が-1.0、右端が1.0となる。 未指定の場合、横軸中央に表示される。
		範囲	-1.0～1.0
alignmentY	Num	—	縦軸方法の表示座標を設定する。中心を0.0として上端が-1.0、下端が1.0となる。 未指定の場合、縦軸中央に表示される。
		範囲	-1.0～1.0
widthRate	Num	—	メッセージの横サイズをスマートフォンの横幅に対する割合で設定する。未指定時は0.7（70%）
		範囲	0.1～0.99

5.4.5. 限定スタンプ・ギフト公開

Nexmile サーバに登録済みであることを前提として、非公開であるが一定期間公開する、または特定の条件を満たした視聴者にのみ公開する等、公開に係る条件を変更する場合に設定する。

① specialGifts 詳細

liveSpecialGift をリスト化したクラスメンバ

liveSpecialGift

プロパティ	属性	必須	用途
giftCategoryNo	String	○	連携先サーバに登録済みの公開対象スタンプ・ギフトのカテゴリ No を設定する。 Nexmile サーバに未登録の場合は公開されない。
giftNo	String	○	連携先サーバに登録済みの公開対象スタンプ・ギフトのアイテム No を設定する。
displayOrder	Num	—	Nexmile クライアントのスタンプ・ギフトパレットでの表示順序を設定する。未設定の場合は連携先サーバに登録済みの表示順序が適用される。
displayTimeFrom	String	—	期間限定公開の場合に設定を行う。この設定値は登録済みの有効期間より優先される。未設定の場合、登録済みの有効期間に対して無期限が設定される。 設定は yyyy/MM/dd HH:mm:ss 形式で行う。
displayTimeTo	String	—	期間限定公開の終了時刻を設定する。 From, To 片側のみでの設定も可能である。 設定は yyyy/MM/dd HH:mm:ss 形式で行う。

5.4.6. リアルタイム決済・金種設定

ライブ視聴中に視聴者がポイントを追加できるユーザインターフェースを設定する。このカスタマイズオプションを利用するためには、連携先サーバが「5.3.16 リアルタイム決済」に対応する必要がある。

- ① quickPayments 詳細
quickPayment をリスト化したクラスメンバ

quickPayment

プロパティ	属性	必須	用途
pointText	String	○	UI 上のポイント説明テキストを設定する。
paymentAmount	Num	○	購入対象の金額を設定する。

6. アプリ未インストール報告

アプリリンクを使用したアプリ制御を実行する場合、URL を HTML 上に記載することで実現する。ブラウザが URL をパースし、該当するアプリがインストールされていればアプリに遷移する。インストールされていない場合、ブラウザはアプリリンク URL のページに遷移を試みる。その挙動からアプリリンクの URL に該当するページを用意することで、そのページに遷移したユーザはアプリが未インストールであると判断できる。Nexmile サーバでは未インストールもしくはアンインストールを検知し、連携先サーバに通知する機能を有する。

6.1. アプリ未インストール報告利用条件

「2.3.1 共通パラメータ・uniqueId」にある通り、ユーザを特定するためにアプリリンク URL 内にユーザ ID、パスワード等の機微情報を記載することはセキュリティ上問題があるため、Nexmile クライアントのアプリリンクではそれらを必要としない。

アプリ未インストール時に取得できる情報は URL と QUERY 文字列、及びブラウザ情報のみであるため、URL からユーザを特定するためにはユーザ毎にユニークかつ一時利用の ID を、連携先サーバが発行し URL 内に含める必要がある。

上記機能を連携先サーバが有することで、アプリ未インストール報告を使用することが可能となる。

6.2. アプリ未インストール報告リクエスト

- ① リクエスト URL
I/F 設定仕様書・アプリ未インストール報告に指定している URL

- ② リクエスト方式
GET

- ③ リクエスト QUERY 項目

プロパティ	属性	必須	用途
siteKey	String	○	「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
userId	String	—	uniqueId が Nexmile サーバ側の登録されている場合、そのユーザ ID、未登録の場合は NULL
userPw	String	—	同上
uniqueId	String	○	アプリリンク内に含まれる uniqueId
ua	String	○	ブラウザエージェント
osType	String	○	1: Android 2: iOS 3: Browser

- ④ レスポンス
HTTP STATUS 応答のみ

7. 連携先サーバからのリクエスト

Nexmile サーバは連携先サーバに対して後述のインターフェースを公開する。全てのインターフェースは siteKey により認証される。siteKey については「3.1.2 サーバ間共通パラメータ」を参照

7.1. プッシュメッセージ配信

Nexmile クライアントをインストール済みのユーザに対して Firebase Cloud Messaging（以下 FCM）を介してプッシュ通知を行う。

7.1.1. 制約事項

Nexmile サーバでは 1 つの連携先サーバに対して、1 つのプッシュ通知用クライアントが用意されている。大量にプッシュ通知を送信した場合、要求はキューイングされ順次処理が行われる。

Android の通話呼出しは、プッシュ通知により実装されているため、大量のキューイングは通話呼出の遅延につながる。

7.1.2. 不達端末の取り扱い

FCM では既にアンインストール済みのスマートフォンに対してプッシュ通知を送信した場合、エラー応答が返却される。

エラー応答のスマートフォンに対して継続的にプッシュ通知を送信した場合、配送遅延に繋がるため Nexmile サーバではそのスマートフォンの登録情報を自動的に削除している。

<仕様追加予定>

現状削除した登録情報に関して、連携先サーバに対して通知していない。Nexmile サーバと連携先サーバの整合性担保のため、削除情報を通知する。

7.1.3. プッシュメッセージ配信要求

① 送信先 URL

https://svc.stream-works.biz:2443/SiteOwner/PushMessage?siteKey=指定されたサイト API キー

② 送信方法

POST

③ POST パラメータ

下記を JSON シリアライズする。

プロパティ	属性	必須	用途
title	String	○	通知タイトル
body	String	○	通知本文
imageUrl	String	—	通知に画像を添付する場合にその画像 URL 設定する。 IOS では未対応
clickAction	String	—	通知クリック時に遷移する URL を設定する。
userIds	List String	○	ユーザ ID の配列 送信先が1つの場合でも配列で設定する。

④ レスポンス

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。

「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

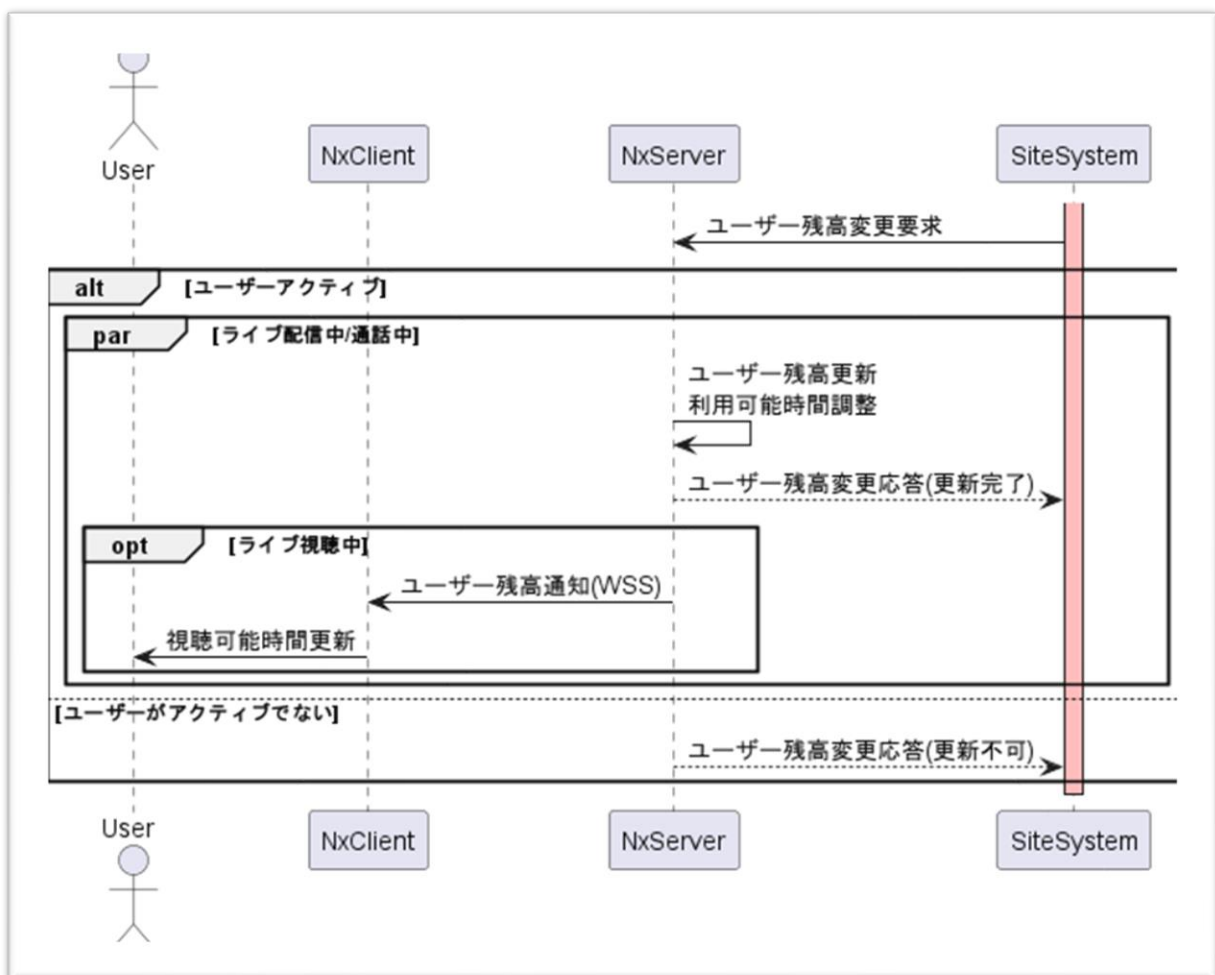
7.2. ユーザポイント更新

ユーザが Nexmile クライアントの通話サービス・ライブ視聴サービスを利用中に、連携先サーバでそのユーザのポイントに増減が発生した場合に、Nexmile サーバが保有するポイント（利用可能時間）を調整する目的で使用する。

7.2.1. 制約事項

当リクエストは利用可能時間の調整を目的としているため、ユーザが通話サービス・ライブ視聴サービスを利用中であることを必須要件としている。そのため連携先サーバはユーザがサービス利用中か否かを管理する必要がある。不用意な当リクエストの発行は Nexmile サーバに負荷をかけるため、利用制限が適用されることもある。

7.2.2. シーケンス図



7.2.3. ユーザポイント更新要求

- ① 送信先 URL
https://svc.stream-works.biz:2443/SiteOwner/UpdateUserBalance?siteKey=指定されたサイト API キー
- ② 送信方法
POST
- ③ POST パラメータ
下記を JSON シリアライズする。

プロパティ	属性	必須	用途
siteToken	String	○	3.1.2 サーバ間共通パラメータ」参照
sid	String	○	リクエストを識別するために連携先サーバで管理する ID Nexmile サーバと突合の必要性が発生した場合に使用する。
userId	String	○	ポイント調整対象ユーザ ID
point	Num	○	増減するポイント 連携先サーバの現在ポイントではなく、連携先サーバで発生した増減の元となる値を設置する。
comment	String	—	リクエストの説明
autoCharge	Bool	○	point を加算するか、減算するかを表す。
		値	True:Nexmile サーバ内の現在ポイントを point 分増加させる。 False:Nexmile サーバ内の現在ポイントを point 分減少させる。

- ④ レスポンス
3.3.1 連携先サーバレスポンス方法に従う。
「result のみをレスポンスとする場合」、「リクエストに対して拒否応答である場合」を参照

7.3. ギフト一覧ダンプ

連携先サーバがスタンプ・ギフトの稼働管理等を行っている場合に Nexmile サーバで設定されているスタンプ・ギフトと整合性が保たれているか確認を行うために JSON 形式でスタンプ・ギフトのダンプリストを出力する。

7.3.1. ギフト一覧ダンプ要求

- ① 送信先 URL
https://svc.stream-works.biz:2443/SiteOwner/DumpGif?siteKey=指定されたサイト API キー
- ② 送信方法
POST
- ③ POST パラメータ
なし
- ④ レスポンス
正常応答の場合
result=0&json=(JSON)

拒否応答の場合

3.3.1 連携先サーバレスポンス方法

「リクエストに対して拒否応答である場合」に従う。

End Of Document